

Rotary



ロータリーの マジック

国際ロータリー 第2770地区 第8グループ

越谷ロータリークラブ

2024-2025 年度計画書

地区

ザ・マジック・オブ・ロータリー
THE MAGIC OF ROTARY

クラブ

楽しい、奉仕活動で進化変化しよう



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

(ロータリー章典 26.020)

Object of Rotery

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do:

- 1) Is it the TRUTH ?
 - 2) Is it FAIR to all concerned ?
 - 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP ?
 - 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned ?
-

ロータリーの歴史



最初の4人のロータリアン。左から、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ポール P. ハリス

(写真提供：Rotary Images)

世界初の奉仕クラブ、米国イリノイ州のシカゴ・ロータリー・クラブは、1905年2月23日、ポール・ハリスによって結成されました。ハリスは、少年期に過ごした小さな町で感じたのと同じ友愛の精神を、専門職業人の集まるクラブで再現したいと望んだのでした。「ロータリー」という名前は、会員の仕事をもちまわりで会合を開いていた初期の慣習に由来しています。

ロータリーの評判はあっという間に広がり、その後10年間に、サンフランシスコとニューヨークをはじめ、カナダのウィニペグにもクラブが結成されました。1921年までに6大陸にロータリー・クラブが結成され、その1年後、この組織は「国際ロータリー」と名づけられました。

ロータリーが発展するにつれ、その使命も、クラブ会員の職業や社交の関心の枠を超えて広がっていきました。ロータリアンは、共同で資金を援助したり、才能を投じるなどして、恵まれない地域社会を助けてきました。こうした理念に対するロータリーの献身をもっとも良く表しているのが、「超私の奉仕」という標語です。1925年7月までに、ロータリー・クラブの数は2,000に達し、会員数は推定108,000人に上っていました。ロータリーの類まれな評判は、大統領や首相といった高官や、小説家のトーマス・マン、外交家のカルロス P. ロムロ、人道主義者のアルベルト・シュバイツァー博士、作曲家のジャン・シベリウスといった著名人をも惹きつけました。

「四つのテスト」

1932年、ロータリアンのハーバート J. テイラーが「四つのテスト」を作り、その11年後、ロータリーはこれを倫理規範として採用しました。以下の問いに示されたこのテストは100カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリーと第二次世界大戦

第二次世界大戦中、多くのクラブが解散を余儀なくされた一方、ほかのクラブは戦争被害者の救援活動に当たりました。1942年、戦後期の到来に備えようと、ロータリアンが呼びかけた国際的な教育と文化交流を推進する会議の開催が、ユネスコ創設のきっかけとなりました。

1945年、国連憲章採択会議の29の代表団の中に、49人のロータリー・クラブ会員がいました。現在もロータリーは、国連の主要会議にオブザーバーを派遣したり、ロータリーの出版物の中で国連を紹介するなど、国連会議に活発に参加しています。元英国首相のウィンストン・チャーチルは、かつて、「自由な世界の隅々でロータリー・クラブが行ってきた善行を知らない者はない」と公に発言しました。

新世紀のはじまり

21世紀が近づく頃、ロータリーは社会の変わり行くニーズに応え、環境破壊、識字率の向上、飢餓、危機下の子供たちといった緊要な課題に取り組む奉仕活動を懸命に行っていました。1989年、ロータリーは、世界中のクラブで女性の入会を認めることを票決しました。以来、女性会員は世界中で活躍しています。ベルリンの崩壊とソビエト連邦の解体後、中欧と東欧では、ロータリー・クラブの再結成や、新たなクラブの結成の動きが見られました。ロシアで初のロータリー・クラブが1990年に加盟し、その後数年間にロータリーは急成長を遂げました。

ポール・ハリスとその仲間が後の「国際ロータリー」の前身となるクラブを初めて創立してから1世紀以上経った今でも、ロータリアンは、自分たちの組織に対する誇りを引き継いでいます。ロータリアンたちは、初のクラブを記念して当初の例会場所だったシカゴのユニティービル711号室を1905年当時のまま保存しました。その後しばらく、ポール・ハリスの711号室は、訪れるロータリアンたちの畏敬の場となりました。1989年、このビルが破壊されることが決まると、クラブのロータリアンは711号室を丁寧に解体し、ドアやラジエーターにいたるまですべての内装を取り外しました。1993年、国際ロータリー理事会は、シカゴ郊外にあるエバンストンの国際ロータリー世界本部の16階に、この711号室を復元し、永久に保存することを決定しました。

現在、118万人のロータリアンが、200以上の国と地域にある37,000以上のロータリー・クラブに所属しています。

目 次

ロータリーの目的・四つのテスト	1
ロータリーの歴史	2
目 次	4
メッセージ	
国際ロータリー会長	6
第 2770 地区ガバナー	10
第 8 グループガバナー補佐	18
越谷ロータリークラブ会長	19
規 定	
クラブ定款	綴込
クラブ細則	綴込
指名委員会設置準則	24
新会員カウンセラー制度運用準則	24
越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則	25
越谷ロータリークラブ友の会運用準則	25
クラブ慶弔規定	26
クラブ紹介	
クラブ概要	27
2024-2025 年度 活動方針	
クラブ組織図	28
役員・理事名簿	29
委員会等構成表	30
会員構成表（充填一覧表）	31
委員会等活動方針	34
姉妹クラブ及び友好クラブ一覧	44
提唱クラブ	45
年間プログラム予定表	46
2022-2023 年度決算書	50
2024-2025 年度予算書	52
財産目録	54
名 簿	
会員名簿	55

2024-25年度 RI会長プロフィール

ステファニー A. アーチック

マクムーリー ロータリークラブ所属
米国（ペンシルバニア州）



McMurray ロータリークラブ（米国ペンシルバニア州）所属。2024-25年度RI会長。RI理事、ロータリー財団管理委員、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、RI会長代理など、RIで数多くの役職を歴任。また、3回の規定審議会代表議員と特別議員を務める。

ロータリー戦略計画委員会とロータリー財団百周年記念委員会の委員長を務めたほか、選挙審査委員会と運営審査委員会を含むさまざまなロータリー委員会の委員を歴任。

1991年にロータリーに入会して以来、インドとナイジェリアでの全国予防接種日（NID）の活動、ベトナムでの小学校建設、ドミニカ共和国での浄水器設置など、さまざまな国際奉仕プロジェクトに参加。複数のスラブ語を学び、ウクライナの新会員の指導にあたったほか、ポーランドでは乳がん検診用のX線撮影装置と生検ユニットを病院に設置するロータリー財団補助金の調整を担当。ポーランドのクラクフ・ロータリークラブは記念冊子の中で、共産主義後のポーランドにおけるロータリーの復興を手助けした重要人物としてアーチック氏を挙げている。

現在は、人道的・教育的奉仕プロジェクトのために米国内のクラブ・地区がアルバニア、コソボ、ウクライナのロータリークラブとパートナーシップを結べるよう援助している。

高等教育、コンサルティング、エンターテイメント業界における職歴を有し、ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ研究の博士号を取得。ロータリー財団をはじめ数多くの地元機関・国際機関から賞や表彰を受けている。

2024-25年度 RI 会長メッセージ

ロータリーのマジック

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオを根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き2倍額を上乗せしますが、年次募金目標である5,000万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

活動をやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック（魔法）が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にあります。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った

新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー（語り部）が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェロシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェロシップを提供します。これまでに1,800人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在140カ国以上で活躍しています。

また、オットー&フラン・ウォルター財団（Otto and Fran Walter Foundation）からの1,550万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるバーチェシエヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは2025年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025年2月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければな

らないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりとは別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

2024-25年度のテーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女兒の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

2024-25年度RI会長
ステファニー A. アーチック

2024-25年度 RI第2770地区運営方針

MAGIC OF ROTARY

2024-25年度 国際ロータリー 第2770地区

ガバナー おかむら 岡村 むつみ 睦美
(川口ロータリークラブ)



◇地区運営方針

2024-2025年度のRI会長ステファニー・アーチック氏は具体的な数値目標を世界中のすべての地区に課しています。

その一つは、各地区100名の増強と新クラブを4つ設立することです。

財団の寄付は、ポール・ハリス・ソサエティ、ポリオ・プラス・ソサエティを地区内に設立して会員を募り認証式を行うことです。

2019年よりロータリーの正式な会員と認められたローターアクトの設立や、会員数を増やし積極的にグローバル補助金事業へのチャレンジをさせることです。

2024-2025年度 RI 会長テーマ

「MAGIC OF ROTARY」(ロータリーの奇跡)

地区運営方針

「未来を見据えて変化しよう」「多様性を力に」

「4つのテスト」と「ロータリーの中核的価値観」この二つはどんな時代においても普遍的なロータリーの理念です。

この理念を改めて会員の皆様と分かち合い、その大切さを認識し守ることがロータリアンとしての誇りであり、「Belonging」(帰属意識)の所以です。

しかしながら、急速な世界の変化や分断された世界状況、戦争や様々な紛争の現実の中では、ロータリーが目指す「平和の構築」が今こそ必要とされる時代です。

そのためにはロータリアンも世界の変化に伴い、多様な持続可能な変化をしていく必要があります。

皆様には「未来を見据えた奉仕活動を行う変革者」になっていただきたいと思います。
そのために皆様と手を取り合って行動しましょう。

2024-25年度 RI第2770地区ガバナープロフィール

岡村 睦美 (おかむら むつみ)

1953年 8月11日 誕生

川口ロータリークラブ

勤務先：(株)21世紀文化芸術研究室

【経歴】

- 1953年 8月11日 東京・世田谷生まれ
- 1972年 田園調布雙葉学園小学校、中学校、高等学校卒業
- 1976年 慶應義塾大学文学部文学科フランス文学卒業
フランス語講師・画廊勤務・結婚、3人の子育てを経て
- 1995年 慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学卒業
- 1998年 有限会社 エスパス・ミュウ 代表取締役
- 2005年 NPO 法人アート・コア・川口 専務理事就任
- 2010年 埼玉画廊 代表取締役
- 2020年 株式会社 21世紀文化芸術研究室 代表取締役

【ロータリー歴】

- 2002年 川口ロータリークラブ入会
- 2008年 地区副幹事
- 2009年 クラブ ロータリー情報委員長
- 2011年 クラブ プログラム委員長
- 2013年 クラブ 幹事
- 2014年 クラブ 会計
- 2016年 クラブ 副会長
- 2018年 クラブ 会長
- 2020年 クラブ 戦略計画委員長
地区増強委員、RLI・DL、米山奨学会面接官
- 2021年 クラブ 研修リーダー
地区財団奨学・平和フェロー・学友委員会委員長
地区 RLI・DL、米山奨学会面接官
- 2022年 地区管理運営部門委員長
- 2023年 第11グループガバナー補佐、ガバナーエレクト

国際ロータリーが目指すもの

会員増強

ポリオ根絶

平和構築の推進

4つのテスト、中核的価値観、DEI + B を推進し、
ビジョン声明と行動計画の再強化を図る

4つのテスト

例会場に必ず掲示

1. 真実かどうか？
2. 皆に公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

中核的価値観

例会場に必ず掲示

- 奉仕 (Service)
- 親睦 (Fellowship)
- 多様性 (Diversity)
- 高潔性 (Integrity)
- リーダーシップ (Leadership)

DEI + B

例会場に必ず掲示

- 多様性
- 公平性
- インクルーシブ
- 帰属意識

2024-25 年度の方針

会員増強

各地区新クラブ4つの設立と 100 名の増強

- ローターアクトクラブ
- E クラブ
- 法人内クラブ
- パスポートクラブ
- 既存のクラブには独自に会員目標数を掲げて実現する。
- 上記の RI の方針を受けて、ガバナー直下にローターアクト特別推進委員会を設置し、青少年部門から独立させる。
- ローターアクトの増強に力を入れる。

ポリオ根絶

2024-25 年度地区方針

- ポリオ・プラス・ソサエティ (P.P.S.) の設立……100 名
- ポール・ハリス・ソサエティ (P.H.S.) の設立……100 名
- 上記の認証式を年度内に行う。

平和構築の推進

- 平和フェローの講演活動
- 国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕の中で、平和構築に関する奉仕事業に重点を置く。
- 各クラブにおいて平和構築に関する事業や卓話を推進する。

4つのテストと DEI + B を推進し、ビジョン声明と行動計画の再強化を図る

- 職業奉仕の中で「4つのテスト」「中核的価値観」「DEI+B」の理念の認識を再度各クラブに認知できるような卓話や事業等を推進する。

2024-25 年度の共同目標

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」



優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万米ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項 3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先事項 4「適応力を高める」の目標

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

地区の優先事項

● 優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」

- P.P.S.、P.H.S. の設立と恒久基金、冠名基金、アーチクランフソサエティの加盟者を募る
- 年次寄付0クラブを無くす
- 全クラブ年次寄付目標額達成
- 国際奉仕、社会奉仕の充実
- ロータリーの公共イメージを高くするための活動を推進する

● 優先事項 2「参加者の基盤を広げる」

- ローターアクトクラブの増強
- ローターアクターの強化
- E クラブ、パスポートクラブ、法人クラブの設立
- すべての部門における DEI + B の推進
- ハラスメントの防止

● 優先事項 3「参加者の積極的なかわりを促す」

- 女性会員、若い会員の増強
- 世代に沿った奉仕の在り方を考える
- DEI + B 及び4つのテスト、中核的価値観と職業奉仕の関連を考える
- NPO、地域の他の奉仕団体、行政等との連携を深めた奉仕事業に挑戦する

● 優先事項 4「適応力を高める」

- 変革から進化への必要性を会員に理解させる
- 新しいパートナーシップとの事業を考える
- DEI + B 及び4つのテストと中核的価値観を各リーダーに周知させて、会員ひとりひとりにも理解を促す
- DEI の行動規範を徹底する

Rotary



行動規範

ロータリーの中核的価値観:親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、ロータリアンおよびローターアクター（世界ほぼすべての国におり、100以上の異なる言語を話す会員）であることに伴う責任を説明したものです。ロータリー会員はこの規範を守り、組織の成長とともにこの規範を発展させていくことに真摯に取り組んでいます。

中核的価値観と同じく、ロータリアンとローターアクターが、互いに、そしてロータリープログラム参加者、学友、プロジェクトのパートナー、地域社会の人びとと接する際に、この行動規範を身をもって示すことが求められます。この行動規範は特に、すべてのクラブ、地区、ゾーン、国際ロータリーの会合、研修、行事をはじめ、会員がロータリーを代表するあらゆる場において、および My ROTARY とソーシャルメディアにおいて適用されます。

期待事項

すべてのクラブ会員、およびロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者に配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

他者を尊重する言葉を使う

- 初対面の人には自己紹介をし、希望する人称代名詞（he/him/his, she/her/hers, they/them/theirs）など、自分を指す際にどのような言葉が使われることを望むかを説明する。人の呼び方は、言いやすいニックネームではなく、本人が希望する名前と呼ぶ。
- 大勢のグループの前で話す際には、ジェンダーの前提を避けるために、中性的な言葉を使う。
- 相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- 言葉の使い方を意識し、地域にあわせて順応させる。ある言葉遣いが、文化によって容認される場合もあれば、容認されない場合もある。
- 文化によって翻訳不可能な俗語・隠語や慣用句の使用を避けたり、その意味を丁寧に説明したりすることで、ロータリーの多様な文化と言語を共有する
- わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。
- 相手の文化的背景、信仰、性的指向、ジェンダー、その他の特性に関心がある場合には、こうした情報を共有することに抵抗がないかどうかを尋ねる。そのトピックが会話の内容と関連がない場合、尋ねるのを控える。
- 世代間の対話を促す雰囲気をもたらし、人を年齢で言い表すのを避ける。

サポートを示す

- 他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- 不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする形でその行為に対処する。
- ロータリー会員としてこの行動規範を守り、これに沿った文化をクラブで築き、問題が起きた場合はこれに対処する。

温かく迎えるインクルーシブな環境を助長する

- バリアフリー対策ができていない会場、同時通訳、字幕、および／または筆記、そのほかのリソースを必要に応じて提供することによって、直接対面式またはオンラインで実施するいかなる会合、行事、活動にも、すべての会員と参加者が全面的に参加できるようにする。
- クラブまたはプログラムの慣習を見直し、特定のグループに対して侮辱的または排他的な活動は中止または変更する。
- 温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- 可能な限り、アイコンタクト、表情、口調、個人空間、ジェスチャー、（体の）姿勢といった非言語的なコミュニケーションに注意を払い、それがいかに人と接する能力や共感する能力に影響するかを意識する。
- さまざまな宗教における重要な日を認識し、それらの慣習に従っている人びとが参加できるように配慮した形で行事や活動の予定を組む。
- 人の食事制限や健康上の制限について知っておく
- クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。または、地域社会のパートナー団体と関わりあう。

多様性を重んじる

- 障害者に対するクラブでの認識、理解、受容を高める。
- 一つの文化や宗教と関連する奉仕プロジェクトや行事ばかりを実施するのではなく、多様な文化や宗教の行事を祝う。
- 多様性と関連する重要な日を認識し、尊重する。
- 特定の人びとを固定概念にあてはめたり、からかったりすることを避ける。
- 異なるジェンダーを認識し、尊重する。

行動規範に関する質問と懸念

行動規範に関する質問や懸念、または行動規範に反する行為があったと感じた場合、Eメールでご連絡ください（DEI.Inquiries@rotary.org）。

成人ハラスメントの問題

ロータリー章典に従い、ロータリーは現在、会合、行事、活動においてロータリアンまたはローターアクターがかかわるハラスメントの問題を報告するための以下の方針を定めています：

ロータリーは、いかなる形のハラスメントもない環境を維持することに力を注いでいる。ハラスメントとは大まかに定義すると、個人またはグループを、あらゆる特性¹（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認）に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指す。

成人がかかわるハラスメントのいかなる申し立てについても通知を受けた場合、またはハラスメントを受けたと感じた場合、以下のステップに従ってください：

1. 身の安全が脅かされていると感じる場合は、警察に相談する。
2. クラブ役員（クラブ会長または幹事）、地区リーダー（地区ガバナーまたは地区ガバナーエレクト）、あるいはゾーンのリーダー（RI 理事）に通知する。
3. 問題について国際ロータリーのクラブ・地区支援室（cds@rotary.org）に報告する。
4. 青少年がかかわるハラスメントまたは虐待の申し立てはすべて、72時間以内に国際ロータリーに報告（youthprotection@rotary.org）しなければならない。

¹ここに挙げられた特性は、ロータリー章典「会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境」からの引用です。ロータリー章典が改訂された場合、この行動規範も改訂されます。

RI第2770地区 第8グループ ガバナー補佐メッセージ

ご挨拶

2024-25年度 国際ロータリー 第2770地区
第8グループ ガバナー補佐 須賀 定吉
(越谷ロータリークラブ)



2024-2025 年度、国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループのガバナー補佐として皆様にお世話になります。

本年度の R I 会長であるステファニー A. アーチック氏は「THE MAGIC OF ROTARY =ロータリーのマジック」というテーマを掲げました。このテーマを踏まえ、岡村睦美ガバナーは「未来を見据えて変化しよう」—多様性を力に—というテーマのもとで地区運営を行います。

私は、岡村睦美ガバナーの新たな視点からの地区運営を期待するとともに、その方針と活動をグループに伝える役割として務めさせていただきます。

私はロータリー活動が将来に向けて大きく変化していく兆しを感じています。微力ではありますが精一杯の努力をして参りますので、どうぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024-25年度 越谷ロータリークラブ会長メッセージ

ご挨拶

2024-25年度 越谷ロータリークラブ
会 長 森田 隆



この度、越谷ロータリークラブ第64代会長就任にあたり、会員皆様にご承認を賜り誠にありがとうございます。

63年間の歴史をつなぎ、伝統を創ってきた先人たちの思いを、大切に次世代につないで行けますよう誠心誠意努力をしていく所存であります。

2010年に入会し、本年度で15年目となります。その間、様々な理事・役員を務めさせていただき大変貴重な経験となりました。まだまだ若輩者ではありますが、皆様のご協力、ご支援、ご指導を賜りながら職責を全うさせて頂く所存です。一年間宜しくお願い申し上げます。

さて、本年度 ステファニー A. アーチック RI 会長のテーマは

The Magic of Rotary 「ロータリーのマジック」

クラブがより良くなるために変化し、ロータリーの強さを維持しなければならないと、そのためには行動計画をクラブに取り入れ、クラブを活性化し多くのロータリーのマジック（魔法）を生み出してほしいと。

プロジェクトを終えるたび、寄付をするたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはロータリーのマジックを生み出すのです。私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いているようにする準備が出来ている人が大勢いるかどうかは私たち次第です。「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょうと発信しました。

RI テーマを受け、岡村睦美ガバナーは
地区活動方針を

ザ・マジック・オブ・ロータリー THE MAGIC OF ROTARY

地区運営方針を

「未来を見据えて変化しよう」 — 多様性を力に —

とし、世界が変化し続ける中、「4つのテスト」と「中核的価値観」という世界の平和をもたらす、ロータリーの伝統ある理念を守るために必要なことは革新であると伝えられました。又、会員増強、ポリオ根絶、平和構築の推進、4つのテストとDEI+Bを推進し、ビジョン声明と行動計画の再強化を図ると力強く発信しました。

◇越谷ロータリークラブ 本年度の活動方針

「楽しい、奉仕活動で進化変化しよう」

● プログラム・親睦・奉仕プロジェクトの充実

会員としての中核的価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）の再認識や例会出席率の向上並びに各事業への参加意識の高揚を図ることで会員の進化変化に努めます。

（老・壮・青 すべての会員が参加したいと思うプログラム、親睦活動を企画します）

● 会員増強・維持

クラブの多様性、公平さ、インクルージョンにより様々な活動を通じ、会員増強・維持、女性会員を増加させることでクラブの進化変化に努めます。

● 五大奉仕部門を通じて地域に変化を

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の全てにおいて笑顔あふれる奉仕活動により参加者にロータリーのマジックを広げることで地域の進化変化に努めます。

● 65周年に向けた準備と事業計画の立案によりクラブの伝統の進化変化に努めます。

● 財団寄付、米山寄付への会員の理解を深めます。

2024-25 年度クラブビジョン

ビジョン声明

私たちは、楽しいクラブ活動を通じて親睦を深めることを基本に、中核的価値観（奉仕、親睦、高潔性、リーダーシップ）を真に共有し、地域、国際社会のニーズに応えることを目指します。

◆ クラブ戦略計画 ◆

1. 老・壮・青のバランスの取れた会員増強・維持に努めた会員構成に尽力する。
2. 持続可能性と進化変化を意識したクラブ運営をする。
3. 地域・国際社会と密なる連携のもと、変化する時代のニーズに合った奉仕事業を实践する。
4. DEI（ダイバーシティ・イクイティ・インクルージョン）+B（ビロンギング）を広げることに積極的に取り組む。

地区数値目標

1. 会員数 純増 100 名（ローターアクトも含む）
2. 新クラブ設立 4つ
ローターアクト
E クラブ
法人クラブ
ほか
3. ロータリー財団寄付
年次基金 会員 1 名 200 ドル以上
ポリオプラス基金 会員 1 名 50 ドル以上
恒久基金 ベネファクター※ 50 名未満のクラブ 1 名
50 名以上のクラブ 2 名
PPS、PH.S. 各クラブ 1 名以上
冠名基金 地区 3 名以上
メジャードナー 地区 3 名以上
アーチクランフソサエティ 地区 1 名以上
4. 米山記念奨学会寄付 会員 1 名 25,000 円以上
(普通寄付：5,000 円 特別寄付：20,000 円)

越谷ロータリークラブ定款

第1条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会の理事
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 書 面：文書化が可能なコミュニケーション。通信手段は問わない。
7. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会は、越 谷 ロータリークラブとする。
(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの目的

本クラブの目的は、次の通りである。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

(※訳注：「第3条 クラブの目的」の原文は「Article 3 Purposes」ですが、既存の第5条「目的」[Object] と区別するため、上記の訳では「クラブの」が補足されています。)

第4条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りである：越谷市周辺

第5条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が

取るべき行動に関わるものである。

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第7条 会合

第1節 例会。

- (a) 日および時間。本クラブは、細則に定められた日および時間に、定期の週の会合を開くものとする。
- (b) 会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。
- (c) 会合の変更。正当な理由がある場合、理事会は、例会を、前回から次回の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。
- (d) 取消。例会日が以下にあたる場合、理事会は、例会を取りやめることができる。
 - (1) 祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合
 - (2) 会員の葬儀の場合
 - (3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合、または
 - (4) 地域社会での武力紛争がある場合理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。
- (e) 例外。細則には、本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月に2回、例会を行わなければならない。

第2節 年次総会。

- (a) 役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。

第3節 理事会の会合。

理事会のすべての会合後30日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第8条 会員身分

第1節 全般的資格条件。

本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

第2節 種類。

本クラブの会員の種類は正会員および名誉会員の2種類とする。本条第7節に従って、クラブは他の会員の種類を設けることができる。これらの会員は正会員または名誉会員としてRIに報告される。

第3節 正会員。

RI定款第4条第2節の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

第4節 二重会員の禁止。

いかなる会員も、同時に、

- (a) 本クラブと、いずれかのクラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
- (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第5節 名誉会員。

本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員は以下の資格を満たすものとする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない
- (c) クラブのいかなる役職にも就かない
- (d) 職業分類を持たない
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問する権利がある。

第6節 例外。

細則には、第8条第2節および第4～6節に従わない規定を含めることができる。

第9条 クラブの会員構成

第1節 一般規定。

各会員は、その事業、専門職務、職業、または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間が認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職、専門職務、または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

第2節 多様なクラブ会員基盤。

本クラブの会員基盤は、年齢、性別、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

第10条 出席

第1節 一般規定。

各会員は本クラブの例会、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加するべ

きである。会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、

- (a) その例会時間の少なくとも 60 パーセントに直接、電話で、またはオンラインで出席する
- (b) 会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなり、その後退席が妥当であると示す十分な理由をクラブ理事会に提示する
- (c) クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから 1 週間以内に定例のオンラインの会合または参加型活動に参加する、または
- (d) 次のような方法で同じ年度に欠席をメイクアップする
 - (1) 他のロータリークラブ、仮クラブ、または他のロータリークラブの衛星クラブのいずれかの例会の少なくとも 60 パーセントに出席すること。
 - (2) 他クラブまたは他クラブの衛星クラブの例会に出席の目的をもって定刻に会場に赴いたとき、当該クラブが、定例の時間または場所において例会を開いていなかった場合。
 - (3) 理事会承認のクラブの奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
 - (4) 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
 - (5) クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加すること。
 - (6) ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦活動、あるいは仮ローターアクトクラブ、仮インターアクトクラブ、仮ロータリー地域社会共同隊、仮ロータリー親睦活動の例会に出席すること。または
 - (7) RI 国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI 理事会または RI 会長の承認を得て招集された会合、合同ゾーン大会、RI 委員会会合、地区大会、地区研修・協議会、RI 理事会の指示の下に開催された地区会合、ガバナーの指示の下に開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市連合会に出席すること。

第 2 節 — 遠方での勤務中の長期の欠席。

会員が長期にわたって遠方で業務に従事している場合、会員の所属クラブと転勤先の指定クラブが合意していれば、会員は、転勤先における指定クラブの例会への出席が所属クラブの出席の代わりとなる。

第 3 節 — その他のロータリー活動による欠席。

欠席のメイクアップが必要とされないのは、会合のときに、会員が

- (a) 第 (1)(d)(7) 節に挙げた会合の一つに出席するため、適切な直行日程による往復の途次にある場合。
- (b) 役員または RI 委員会の委員、TRF 管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (c) ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (d) RI に雇用されている者が、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (e) メイクアップすることができないような僻遠の地で、地区、RI、または TRF の提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。または
- (f) 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

第 4 節 — RI 役員の欠席。

会員が現役の RI 役員または現役の RI 役員の配偶者／パートナーである場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

第 5 節 — 出席規定の免除。

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出

席規定の適用の免除は、最長 12 カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の 12 カ月を超えて延長することができる。

- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合。

第 6 節 — 出席の記録。

本条第 5 節 (a) の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第 4 節または第 5 節 (b) の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。

第 7 節 — 例外。

細則は、第 10 条に従わない規定を含めることができる。

第 11 条 理事および役員および委員会

第 1 節 — 管理主体。

本クラブの管理主体は、細則に規定される理事会である。

第 2 節 — 権限。

理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持ち、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができる。

第 3 節 — 理事会による最終決定。

クラブのあらゆる事項に関して、理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、理事会が会員身分の終結の決定をした場合、会員は第 13 条第 6 節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができる。理事会の決定を覆すための提訴は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の 3 分の 2 の投票を必要とする。そして、当該例会の少なくとも 5 日前に、幹事が当該提訴の予告を各会員に対して与えていなければならない。提訴に対するクラブの決定が最終決定である。

第 4 節 — 役員。

クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1 名または数名の副会長も役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督も役員であるが、細則が定める場合、理事会のメンバーとすることができる。各役員と理事は、本クラブの瑕疵なき会員であるものとする。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。

第 5 節 — 役員選挙。

- (a) 会長を除く役員の任期。各役員はクラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の 7 月 1 日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任する。
- (b) 会長の任期。会長ノミニーは、細則の定めるところに従って、会長として就任する日の直前 18 カ月以上 2 年以内に選挙されるものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の 7 月 1 日に、会長エレクトになる。会長は、7 月 1 日に就任し、1 年間、その職務に当たる。後任者が選挙されない場合、現会長の任期は最長 1 年間延長される。
- (c) 会長の資格要件。クラブ会長の候補者は、ガバナーが 1 年未満であってもこの要件を満たしていると判断しない限り、指名に先立つ少なくとも 1 年間、本クラブの会員でなければな

らない。会長エレクトは、ガバナーエレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会に出席するものとする。免除された場合は、会長エレクトがクラブから代理の者を派遣するものとする。会長エレクトが、ガバナーエレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会に出席しない場合、あるいは、免除されてもクラブの代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任しないものとする。その場合、会長エレクト研修セミナーおよび研修・協議会、もしくはガバナーエレクトが十分であるとみなした研修に出席した後任者が選挙されるまで、現会長が継続してクラブ会長を務めるものとする。

第6節 — 委員会。

本クラブは次の委員会を有すべきである。

- (a) クラブ管理運営
- (b) 会員増強
- (c) 公共イメージ
- (d) ロータリー財団、および
- (e) 奉仕プロジェクト

理事会または会長は、必要に応じて追加の委員会を任命できる。

第12条 会費

すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする。

第13条 会員身分の存続

第1節 — 期間。

会員身分は、以下に定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

第2節 — 自動的終結。

会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。

- (a) 再入会。瑕疵なき会員の会員身分が終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に、再度新たに入会申込をすることができる。
- (b) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員の身分を取り消すことができる。

第3節 — 終結 — 会費不払。

- (a) 手続。期日後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、幹事が、書面をもって催告するものとする。催告後10日以内に会費が納入されなければ、理事会はその裁量によって会員身分を終結することができる。
- (b) 復帰。理事会は、元会員が要請し、クラブに対するすべての負債を支払った場合、元会員を会員身分に復帰させることができる。

第4節 — 終結 — 欠席。

- (a) 出席率。会員は、
 - (1) メークアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも50パーセントに達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも12時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。および

-
- (2) 年度の各半期間に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくとも 30 パーセントに出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない (RI 理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする)。

規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員身分を終結されることがある。

- (b) 連続欠席。理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または第 10 条第 4 節もしくは第 5 節に従う場合を除き、連続 4 回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、その欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えられることができる。理事会が会員に通知した後、理事会は、過半数によって、会員の会員身分を終結することができる。

- (c) 例外。細則は、第 13 条第 4 節に従わない規定を含めることができる。

第 5 節 — 終結 — その他の理由。

- (a) 正当な理由。理事会は、いずれの会員も、クラブの会員としての資格条件に欠けるようになった場合、もしくは他に十分と認められる根拠があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、出席し投票した全理事の 3 分の 2 以上の賛成投票によって、その会員身分を終結することができる。本会合の指針となる原則は、第 8 条の第 1 節、「四つのテスト」、およびロータリアンの高い倫理基準とする。
- (b) 通知。理事会が本節 (a) 項の下に決定する前に、当該会員は、少なくとも 10 日間の予告を書面によって与えられ、理事会に対して書面にて回答する機会を与えられるものとする。かかる予告の通達は、配達証明便または書留郵便によって、分かっている最新の宛先に送付されるものとする。会員は、理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つ。

第 6 節 — 会員身分の終結に提訴、調停または仲裁を求める権利。

- (a) 通知。幹事は、理事会決定後 7 日以内に、その理事会の会員身分を終結または保留させる決定を、書面で会員に通知するものとする。その会員は通告後 14 日以内に、幹事に対する書面をもって、クラブに提訴するか、または調停もしくは仲裁に訴えるかを通告することができる。調停または仲裁の手続は第 17 条に規定されている。
- (b) 提訴。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから 21 日以内に行われるクラブの例会において、当該聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定するものとする。例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも 5 日間の予告が、書面をもって、全会員宛に与えられるものとする。提訴が聴聞される場合には、会員のみが出席するものとする。クラブの決定が最終決定であり、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、仲裁を要求することはできない。

第 7 節 — 理事会による最終決定。

もしクラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合、理事会の決定は最終決定となるものとする。

第 8 節 — 退会。

会員の本クラブからの退会の申出は会長または幹事宛に書面をもって行い、理事会が受理するものとする。ただし、当該会員が本クラブに負債がある場合を除く。

第 9 節 — 資産関与権の喪失。

いかなる理由にせよ、本クラブの会員身分を終結された者は、本クラブに入会した時点で地元の法律の下でその会員が何らかの権利を得ていた場合、本クラブのいかなる資金またはその他の財産に対しても、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第 10 節 — 一時保留。

本定款のいかなる規定にもかかわらず、理事会の見解において、

-
- (a) 会員が、本定款に従うことを拒否または怠った、あるいは会員としてふさわしくない振舞い、またはクラブに害をもたらすような振舞いをしたという信憑性のある告発があった場合、および、
 - (b) これらの告発が立証された場合、当該会員の会員身分を終結するのに正当な理由となる場合、および、
 - (c) 当該会員の会員身分に関していかなる措置も取るべきではなく、その結果を待つ間、または理事会が適切と考える措置が最初に取りられるべきである場合、および、
 - (d) 当該会員の会員身分に対する票決を取ることなく、当該会員の会員身分を一時保留とし、当該会員が例会やそのほかのクラブの活動への出席や、いかなる役職や任務からも除外することがクラブの最善の利益となる場合、理事会は、その3分の2以上の賛成票によって、理事会の決定する妥当な期間（ただし最大90日間）と理事会が定めたその他の条件に従い、会員の会員身分を一時保留とすることができる。一時保留とされた会員は、本条第6節に定められる通り、一時保留について提訴する、または調停や仲裁を求めることができる。一時保留期間中、当該会員は出席要件を免除されるものとする。理事会は、一時保留期間が終了する前に、一時保留となっているロータリアンの会員身分を終結する手続きを取るか、通常の会員身分に復帰させなければならない。

第14条 地域社会、国家、および国際問題

第1節 — 適切な主題。

地域社会、国家および世界の福祉にかかわる公共問題は、クラブ会合における公正かつ理解を深める討議の対象として適切な主題である。しかしながら、クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとする。

第2節 — 支持の禁止。

本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議しないものとする。

第3節 — 政治的主題の禁止。

- (a) 決議および見解。本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、決議ないし見解を採択したり配布したりしないものとする。またこれに関して行動を起こさないものとする。
- (b) 嘆願。本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願しないものとする。また書状、演説、提案を配付しないものとする。

第4節 — ロータリーの発祥を記念して。

ロータリアンの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリアンの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。

第15条 ロータリーの雑誌

第1節 — 購読義務。

本クラブがRI理事会によって免除されていない限り、各会員は、機関雑誌を購読するものとする。同じ住所に住む二名のロータリアンは、機関雑誌を合同で購読することができる。購読は本クラブの会員となっている限り継続し、購読料は理事会が決定した人頭分担金の支払日に支払われるものとする。

第2節 — 購読料。

購読料は、クラブが各会員から事前に徴収し、RIまたはRI理事会が決定した通り、購読する地

域雑誌の事務所に送金するものとする。

第16条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、クラブ定款・細則を順守し、これに拘束されることを受諾する。これらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、クラブ定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

第17条 仲裁および調停

第1節 意見の相反。

現会員または元会員と本クラブ、クラブ役員、または理事会との間の意見の食い違いは、理事会の決定を除き、論争当事者のいずれかが幹事に要請し、調停または仲裁によって解決を図るものとする。

第2節 調停または仲裁の期限。

要請を受理してから21日以内に、理事会は論争当事者と協議して、調停または仲裁の日取りを決定するものとする。

第3節 調停。

調停の手続きは、

- (a) 国もしくは州に対し管轄権を有する関係当局によって認められたもの、または
 - (b) 代替の争議の解決方法を含む専門知識に定評のある優れた専門職団体によって推薦されたもの、または
 - (c) RI理事会もしくはTRF管理委員会が定めた指針文書において勧められるものとする。
- ロータリアンのみが調停人となることができる。クラブは、適切な調停技能と経験を有する調停人を任命するようガバナーもしくはガバナーの代理人に依頼することができる。
- (a) 調停の結果。調停後に論争当事者が合意に達した結果もしくは決定は、記録されるものとし、各当事者、調停人、および理事会に記録を1部ずつ提出するものとする。クラブへの情報提供のために、当事者が承諾できる要約文を作成するものとする。論争当事者の一者が調停内容を十分に履行しなかった場合、いずれの論争当事者も会長または幹事を通じて、さらに調停を要請することができる。
 - (b) 調停の失敗。調停を要求したが、調停が失敗した場合、論争当事者は本条の第1節に定める仲裁に訴えることができる。

第4節 仲裁。

仲裁が要求された場合、両論争当事者はそれぞれ1名のロータリアンを仲裁人として指定し、両仲裁人は1名のロータリアンを裁定人として指定するものとする。

第5節 仲裁人または裁定人の決定。

仲裁人によって下された決定もしくは両仲裁人が合意に達し得なかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

第18条 細則

本クラブは、RI定款・細則、RIによって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続規則、および本定款と合致する細則を採用するものとし、細則は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。細則は、その規定に従い、改正することができる。

第19条 改正

第1節 改正の方法。

本条第2節に規定されている場合を除き、本定款は、規定審議会における投票者の過半数の賛成票によってのみ改正できる。

第2節 第2条と第4条の改正。

第2条(名称)および第4条(クラブの所在地)は、定足数を満たした数の会員が出席したクラブの例会においていつでも、全投票会員の最低3分の2の賛成投票によって、改正することができる。改正案の通告は、その例会の少なくとも21日前に、各会員およびガバナーに郵送されるものとする。改正は、RI理事会に提出するものとし、承認された時に初めてその改正は効力を発する。ガバナーは、提出された改正案に関してRI理事会に意見を提出することができる。

※ 2022年度 手続き要覧に基づき変更

越谷ロータリークラブ細則

第1条 定義

本条の語句は、本細則で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味を持つものとする。

1. 理事会 本クラブの理事会は、役員、および 10 名の理事で構成される。
2. 理事 本クラブの役員および理事会メンバーをいう。
3. 役員 会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、会場監督および直前会長をいう。
4. 会員 名誉会員以外の本クラブ会員をいう。
5. R I 国際ロータリーをいう。
6. 年度 7月1日に始まる 12ヶ月間とする。
7. 次年度理事会 会長エレクト、次々年度会長（会長ノミネーという）、次年度役員、会長及び 10 名の次年度理事で構成される。
8. 被選理事会 次々年度会長、次年度役員（ただし、会場監督を除く）および 10 名の次年度理事が選出されてから 1 週間以内に、次年度会長が開く次年度理事会をいう。

第2条 理事会

本クラブの管理主体は、本クラブの会員 17 名により構成する理事会とする。すなわち本細則第 3 条第 1 節に基づいて選挙された 10 名の理事、会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミネー）、幹事、直前会長および会計と、被選理事会により選出された会場監督で構成される。

第3条 理事および役員の選出

第1節

次年度理事および役員（ただし会場監督を除く）を選出すべき会合（年次総会）の 1 か月前の例会において、その議長たる役員は、会員に対して、次々年度会長、次年度副会長、同幹事、同会計および 10 名の同理事を指名することを求めなければならない。

その指名は、別に定める指名委員会設置準則に従って、指名委員会によって行う。指名された次年度役員（会場監督を除く）および同理事は、年次総会において、出席者の過半数の承認をもって、それぞれ該当する役職に当選したものとする。

前記の投票によって選出された次々年度会長は、会長ノミネーとなるものとし、その選出の後の次の 7 月 1 日に始まる年度に、会長ノミネーのまま理事会のメンバーを務め、理事会のメンバーを務めた年度直後の 7 月 1 日に、会長に就任するものとする。会長ノミネーは、後任者の選出が行なわれた後に、会長エレクトの役職名が与えられるものとする。

第2節

選出された次年度役員および同理事に、次年度会長および直前会長を加えて被選理事会を構成するものとする。

次年度会長は、次年度役員および同理事が選出されてから 1 週間以内に被選理事会を開催し、クラブ会員の中から役員たる会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節

理事会またはその他の役職に生じた欠員は、指名委員会の指名により選出された役員もしくは理事によって補填すべきものとする。ただし、その直後の例会に報告し、同例会において、承諾

を経ることを要する。

第4条 役員の任務

第1節 会長

本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト

会長エレクトは理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節 副会長

会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事

幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管するほか、下記の任務を行う。

(1) RI事務総長に対し、次の報告を行う。

- ① 毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告
- ② 半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員について10月1日と4月1日現在の四半期会員報告
- ③ 資格変更報告
- ④ 毎月1日迄に前月分の会員数報告および活動報告並びにR財団寄付報告を地区ガバナーに対して行わなければならない。月次出席報告(毎月1日迄に提出)を含む諸種の義務報告

(2) RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金する。

(3) その他通常その職に付随する任務。

第5節 会計

会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行う。その職を去るに当たっては、会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブの財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督

会場監督の任務は、通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。

第7節 直前会長

直前会長の任務は、前年度の事業活動等の経験を踏まえて、理事会の審議に助言・指導相談を行う事を任務とする。

第5条 会合

第1節 年次総会

本クラブの年次総会は、毎年12月30日以前に開催されるものとする。この年次総会において、次年度の役員(ただし、会場監督・直前会長を除く)および同理事の選出を行わなければならない。

第2節

本クラブの毎週の例会は、火曜日12時30分に開催するものとする。

例会に関するあらゆる変更または例会の取消は、クラブの会員すべてに然るべく通告されなければならない。本クラブの会員はすべて、名誉会員（または越谷ロータリー・クラブ定款第10条第5節（b）項の規定にもとづき、出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録される。その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは越谷ロータリー・クラブ定款第10条第1節の別段の規定によるものでなければならない。

第3節

越谷ロータリークラブ定款第10条第1節（d）項の規定にかかわらず、会員は、例会欠席した場合、例会の前後いずれも14日以内に欠席をメイクアップしなければならない。

第4節

本クラブの年次総会および例会の定足数は、会員総数の3分の1以上とする。

第5節

定例理事会は、毎月1回開催されるものとする。理事会は、会長がその必要ありと認めるとき、または2名以上の役員もしくは理事からの要求があるときは、会長によって招集されるものとする。ただしその場合然るべき予告が行われなければならない。

第6節

理事会の定足数は、役員および理事の過半数とする。

第6条 入会金および会費

第1節

入会金は8万円とし、入会承認に先んじて納入すべきものとする。ただし、以下に該当する新会員の入会金については、これを4万円とする。

- ①会社勤務者の転勤に伴う同一会社の社員
- ②会員（かつて会員だった者も含む）の配偶者
- ③会員（かつて会員だった者も含む）の二親等以内の血族

第2節

会費は年額28万円とし、各半年ごとの各支払額のうちの一部は、各会員のRI公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に各14万円を納入すべきものとする。ただし、年度の上半期の期限内に満80歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認をした会員の会費は年額18万円とし、納入方法その他は同様とする。年度の下半期の期限内に満80歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認した会員の下半期の会費は9万円とし、納入方法その他は同様とする。

第7条 採決の方法

本クラブの議事は、次年度役員および同理事を選出する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。

（注：口頭による採決とは、クラブの投票が発声方式での同意によって行われた場合と定義する）

第8条 五大奉仕部門

五大奉仕部門は、本クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それは、クラブ

奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、および青少年奉仕である。本クラブは、五大奉仕部門の各部門に積極的に取り組むこととする。

第9条 委員会

第1節 基本理念

クラブ委員会は、五大奉仕部門の理念に基づいた年次および長期的な目標を、推進する責任を持つ。

会長、会長エレクトおよび直前会長は、五大奉仕部門の理念に基づき、指導の継続と計画の引継ぎを確保するために、協力すべきである。年次および長期的な目標の一貫性を保持するため、実行可能であれば、委員会の委員は、同じ委員会に3年間留任されるべきである。

会長エレクトは、任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。会長エレクトは、委員長を任命するに当たり、当該委員会委員としての経験を有する者のなかから任命することが推奨される。

第2節 常設委員会

会長は、理事会の承認の下に、次の常設委員会を設置しなければならない。

- ・クラブ管理運営委員会

この委員会は、本クラブの効果的な運営に関連する活動を実施する。

- ・公共イメージ委員会

この委員会は、一般の人々に対してロータリーについての情報を提供するほか、本クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を推進する計画を立て、実施する。

- ・会員増強維持委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施する。

- ・奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会における積極的平和を目指し、これらのニーズに応える目的の、教育的、人道的および職業的奉仕プロジェクトを企画し、実施する。

- ・米山記念奨学委員会

この委員会は、資金的寄付と奉仕プログラムへの参加を通じて、米山奨学金財団を支援する計画を立て、実施する。

- ・ロータリー財団委員会

この委員会は、資金的寄付と奉仕プログラムへの参加を通じて、ロータリー財団を支援する計画を立て、実施する。

第3節 各種委員会

会長は、前節に記載する常設委員会のほか、必要に応じて特定の分野を担当する次の委員会を設けることができる。

- ・親睦活動委員会

この委員会は、会員間の好意と友情の交流を増進し、企画されたレクリエーションあるいは社交的諸活動への参加を会員に奨励し、並びに本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を、果たすものとする。

- ・プログラム委員会

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。

- ・ロータリー情報委員会

この委員会は、新入会員にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報および資料を提供し、入会してから最初の1年間、オリエンテーリングを監督するものとする。また、会員に対し、あらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供しなければならない。

・出席委員会

この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること(これには、地区大会、都市連合会(IM)、地域大会および国際大会への出席も含まれる)を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は、特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブの例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席をよくするためのより良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めなければならない。

・会場運営委員会

この委員会は、例会場の設営並びに例会の司会進行を担当し、例会場に掲示する国旗・ロータリー旗・RI スローガン・月間プログラム掲示板・ロータリーソング掲示板および点鐘セット並びに電子ピアノを保管し、移動例会においてこれらの搬送を管理し、例会が円滑に進行するよう努めなければならない。

・スマイル委員会

この委員会は、例会における会員からのスマイルを受理し、入金を管理し、必要に応じて例会場でスマイルメッセージおよび金額を発表し、年度内のスマイル金額を掌理する。

・長期計画委員会(クラブ活性化・戦略計画推進含む)

この委員会は、ロータリークラブの崇高な理念を地域社会に広め、奉仕の機会を広く推進するとともに、クラブの活性化および組織の強化を図り、魅力あるクラブとするための、長期的な計画を提言することに努めなければならない。

・クラブ会報委員会

この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員および世界各地のロータリープログラムに関するニュースを伝えることに努めなければならない。

・雑誌広報委員会

この委員会は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、図書館、病院、学校その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らい、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって、雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。

さらに、広く一般世間に、ロータリーの歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。

・会員構成委員会

この委員会は、毎年できるだけ早く、少なくとも8月31日以前にその他の地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、本クラブの現会員の持っている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会与協議しなければならない。

・会員選考委員会

この委員会は、会員に推薦されたすべての者を、個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての入会申込に対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。

・職業奉仕委員会（健康増進含む）

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げる上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの職業奉仕活動に責任をもち、職業奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

・社会奉仕委員会（ブライダル含む）

この委員会は、本クラブの会員がその地域社会における積極的平和を目指し、これに対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。

・国際奉仕委員会（姉妹クラブ・友好クラブ含む）

この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。また、本クラブの国際奉仕活動に責任をもち、国際奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督し、これを調整するものとする。

・青少年奉仕委員会（青少年・ローターアクト含む）

この委員会は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識し、交換留学生・青少年育成・ローターアクトの指導・援助に資する活動を実施するものとする。

第4節

会員構成委員会およびロータリー情報委員会は、各々3名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする。

第5節 特別委員会

会長は、その必要ありと認めた場合、特定分野を担当する委員会を設置することができる。

第6節

各委員会の活動は、本クラブの定款および細則に定めるほか、以下の準則に従って行う。

- (1) 会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
- (2) 委員会は、本細則によって付託された職務のほか、これに加えて会長または理事会が付託する事項を処理する。ただし、委員会は、理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、理事会に報告してその承認を得るまでは、行動してはならない。
- (3) それぞれの委員長は、その委員会の定例会合に対して責任をもち、委員会の仕事を監督、調整する任務をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。

第10条 委員会の任務

会長は、その任期中の諸委員会の任務を確定し、評価するものとする。会長は、各委員会の任務を発表するにあたり、既存の適切なRI文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会は、その年度計画を考案する際、職業奉仕、社会奉仕および国際奉仕の各部門の活動を考慮することと

する。

それぞれの委員会は、具体的な権限、明確な目標、および各年度の初めにその年度内に実施する行動計画を設定するものとする。

上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、委託任務、目標、計画に関し理事会に対し説明発表するための準備を整えるにあたり、必要な指導を施すのは会長エレクトの主要責務である。

第11条 出席義務規定の免除

会員は、越谷ロータリー・クラブ定款第10条第2節および同条第3節並びに同条第4節と同条第5節および第6節に該当する場合を除くほか、理事会に対して、書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第12条 財務

第1節

理事会は、各会計年度の開始に先立ち、その年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。ただし、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。

第2節

会計は、本クラブの資金を、すべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は、2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営と奉仕プロジェクトに関する資金である。

第3節

すべての勘定書は、役員理事2名の署名する伝票に基づき、適切な方法で支払われるものとする。

第4節

すべての資金業務処理は、毎年1回有資格者によって、全面的な監査が行われるものとする。

第5節

資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管のために理事会が要求する場合に限り、保証を提供しなければならない。保証の費用は本クラブが負担するものとする。

第6節

本クラブの会計年度は、7月1日より翌年6月30日に至る1年間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の、二半期に分けるものとする。人頭分担金とRI公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第13条 入会の方法

第1節

本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面（推薦状）をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。尚、本クラブ以外の正会員（他クラブ）からの推薦がある場合、本クラブの正会員の書面（推薦状）をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出することができる。

第2節

理事会は、その被推薦者が本クラブの職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを、確認しなければならない。

第3節

理事会は、推薦状の提出後 30 日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。

第4節

会長は、理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。

第5節

会長は、前節の説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて、理事会の承諾を求めなければならない。

第6節

被推薦者についての発表後 7 日以内に、会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てがなかった場合は、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会において、この件について票決を行うものとする。この理事会で入会が承認された場合は、被推薦者は、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第7節

この入会手続後に、会長は、当該会員の入会式を行い、幹事は、当該会員に対して会員証を発行し、新会員に関する情報を R I に報告する。ロータリー情報委員会は、入会式で新会員に贈呈する適切な資料を提供し、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を 1 名指名するものとする。

第8節 名誉会員

本クラブは、越谷ロータリー・クラブ定款第 8 条第 5 節に従い、理事会により、推薦された名誉会員を選ぶことができる。

第14条 決議

本クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案も審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会宣言

来訪者の紹介

来信、告示事項およびロータリー情報

委員会報告（もしあれば）

審議未終了議事

新規議事

スピーチその他のプログラム

閉会

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。ただし、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。定款およびR Iの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

附 則 第17条

1. 2014年(平成26年)7月1日 改定
2. 2018年(平成30年)7月1日 一部改定 第6条第2節
3. 2020年(令和2年)7月1日 改定
4. 2023年(令和5年)7月1日 改定

指名委員会設置準則

新会員カウンセラー制度運用準則

越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則

越谷ロータリークラブ友の会運用準則

慶弔規定

クラブ資料

指名委員会設置準則

越谷ロータリークラブ細則第3条第1節にしたがって、指名委員会を設置する場合は、下記のとおりにする。

記

第1条(構成)

指名委員会の委員(以下「委員」という)は、越谷ロータリークラブの過去会長をもって構成する。

第2条(委員長)

指名委員会委員長(以下「委員長」という)は、委員の互選とする。

第3条(委員会の開催)

委員会は、年次総会までに委員会を開催し、会長(次次年度)・副会長・幹事・会計および10名の理事を指名しなければならない。

第4条(委員長)

委員長は、指名委員会の会合において議長を務める。委員長は、委員会が指名した候補者を、年次総会においてこれを報告し、議案として提出しなければならない。

第5条(オブザーバー)

会長・幹事および会長エレクト・副幹事は、委員会にオブザーバーとして出席することができる。ただし、議決権を有しない。

付則 本準則は、2012年7月1日から施行する。

新会員カウンセラー制度運用準則

1. 本運用準則は、越谷ロータリークラブ細則第13条第7節に基づいて指名される「援助する会員」に適用される。
2. 前項の「援助する会員」を、「新会員カウンセラー」と称する。
3. 新会員カウンセラーは、ロータリー情報委員会が会員の中から1名指名する。
4. 前項により指名された新会員カウンセラーは、次の活動を担当する。
 - (1) 任期 新入会員の入会式当日から6ヶ月間
 - (2) 活動内容
 - ① 担当する新会員を例会その他の行事・委員会に誘う。
 - ② できるだけ例会日には一緒に行動する。
 - ③ 例会場では隣の席に座る。
 - ④ 新会員の質問に答える。
 - ⑤ 新会員をできるだけ多くの会員に紹介し知己を得る。
5. 会長は、例会場における新会員の入会式において、第3項で指名された新会員カウンセラーに対し委嘱状を授与する。

付則 本準則は、2011年10月11日から施行する。

越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則

第1条

本運用準則は、越谷ロータリークラブ（以下「本会」という。）に在籍された会員から、本会細則第13条第8節により名誉会員を選出する場合の目安を定める。

第2条

本会会長は、以下の条件を満たす会員から退会の申し出があった場合、当該本人の希望により、理事会に当該会員を名誉会員に選任する旨の議案を提出することができる。

(1) 在籍40年

(2) 会長、幹事、委員長、地区役員その他本会の活動に著しい功績のあったこと

第3条

理事会は、前項の議案が提出された場合、当該会員の実績を考慮して、速やかに退会を承認するとともに名誉会員に選出するものとする。

第4条

本運用準則は、本会に功績があった会員が退会を希望する場合に、当該会員との交流を継続するために定められたものであり、本会定款第8条第5節により名誉会員が選出される場合を妨げるものではない。

第5条

選出された名誉会員は、本会定款第8条第5節の権利及び特典を行使することができる。

付則 1. 本運用準則は、2019（令和元）年6月1日から施行する。

2. 本運用準則は、2020（令和2）年7月1日から施行する。

越谷ロータリークラブ友の会運用準則

第1条(目的)

本会は、越谷ロータリークラブに在籍中に逝去された会員の配偶者との交流を継続することにより、相互間の親睦と信頼関係の維持発展を目的とする。

第2条(構成)

本会は、越谷ロータリークラブに在籍中に逝去された会員の配偶者で構成される。ただし、本人あるいは子息子女が越谷ロータリークラブの会員の場合もしくは配偶者本人から辞退の申出があったときは、この限りではない。

第3条(活動内容)

越谷ロータリークラブは、本会会員に対して、次のサービスを提供するとともに、必要に応じて情報提供をするものとする。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 週報の配布 | 原則として毎月1回郵送する |
| ② 訃報の連絡 | 越谷ロータリークラブ会員に流す訃報を同時に連絡する |
| ③ 行事案内 | 参加可能な越谷ロータリークラブ主催行事を案内する |
| ④ 会員拡大の依頼 | 知人・関係者の紹介を依頼する |
| ⑤ その他 | 会長・幹事が必要と認める事項 |

第4条(管理)

幹事は、本会会員の名簿を作成し、常に最新の名簿を調整することに務め、運用の用に供する。

第5条(会費)

本会の会費は無料とする。

付則 本準則は、2012年4月1日から施行する。

慶 弔 規 定

第 1 条 (総則)

この規定は会員の慶弔に関する事項について定めるものである。

第 2 条 (結婚)

会員本人又は子女が結婚したときは、下記の祝金を贈る。

ただし、会員本人が辞退したときはこの限りではない。

- | | |
|-----------|----------|
| (1) 本人のとき | 20,000 円 |
| (2) 子女のとき | 10,000 円 |

(出産)

会員本人と配偶者との間に子ども(双子以上の場合も含む)が生まれたときは、下記の祝金を贈る。

ただし、会員本人が辞退したときはこの限りではない。

10,000 円

第 3 条 (見舞金)

会員本人が傷病、火災、盗難等の災害を受けたとき、下記の見舞金を贈る。

- | | |
|---|----------|
| (1) 本人が 10 日以上入院もしくは 1 ヶ月以上の療養を要する負傷、
又は病気になったとき | 20,000 円 |
| (2) 火災、盗難などにより被害を受けたときは、その都度、理事会に於いて決定する。 | |

第 4 条 (香典)

会員本人、又はその親族が死亡したとき、下記の香典を贈る。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| (1) 本人、又は配偶者のとき | 20,000 円と、生花 1 基 |
| (2) 父母、又は子供のとき | 10,000 円と、生花 1 基 |
| (3) 同居している 3 親等以内の親族のとき | 10,000 円 |

第 5 条 (会員相互の慶弔金)

会員又は、その親族の慶弔に関する会員相互間の慶弔金の基準は、1 万円とする。

第 6 条 (訃報の扱い)

訃報を会員に連絡する基準は次のとおりとする。

- (1) 第 4 条(香典)に該当する場合
- (2) 越谷ロータリークラブと関係が深い他クラブ会員本人もしくは、その親族で第 4 条(香典)に該当する事由が発生した場合で、会長が訃報を流すべきと判断した場合。
- (3) 前項以外の場合でも、会長において、訃報を会員に連絡したほうが会員の便に利すると判断した場合、訃報を会員連絡できるものとする。

付 則 会員の卒寿の祝金として金 5 万円を贈る。(2003-04 年度 理事会)

この規定は、2015-16 年度理事会で定め、2016 年 6 月 1 日より施行する。

クラブ概要

創 立	1961年5月9日(昭和36年)
R . I . 承 認	1961年6月19日(昭和36年) (全国450番目 / 埼玉県7番目 / 2770地区4番目)
創立当時ガバナー	田 誠 (東京・故人)
スポンサークラブ	浦和ロータリークラブ
特 別 代 表	中村弥太郎(浦和・故人)
創 立 時 区 域	越谷市全域
認 証 状 伝 達 式	1962年3月27日(昭和37年)
創 立 時 会 員 数	21名
伝 達 式 時 会 員 数	25名
事 務 所	〒343-0818 越谷市越ヶ谷本町8-7 TEL 048 (965) 0550・FAX 048 (965) 6000
例 会 日	毎週火曜日(12:30～13:30)
例 会 場	越谷産業会館内1階
会 員 数	90名(2024年7月1日現在)

拡大クラブ

1. 越谷南ロータリークラブ

創 立	1974年6月28日(昭和49年)
R . I . 承 認	1974年7月26日(昭和49年)
特 別 代 表	畔 上 計 治 (故人)
認 証 伝 達 式	1975年4月27日(昭和50年)

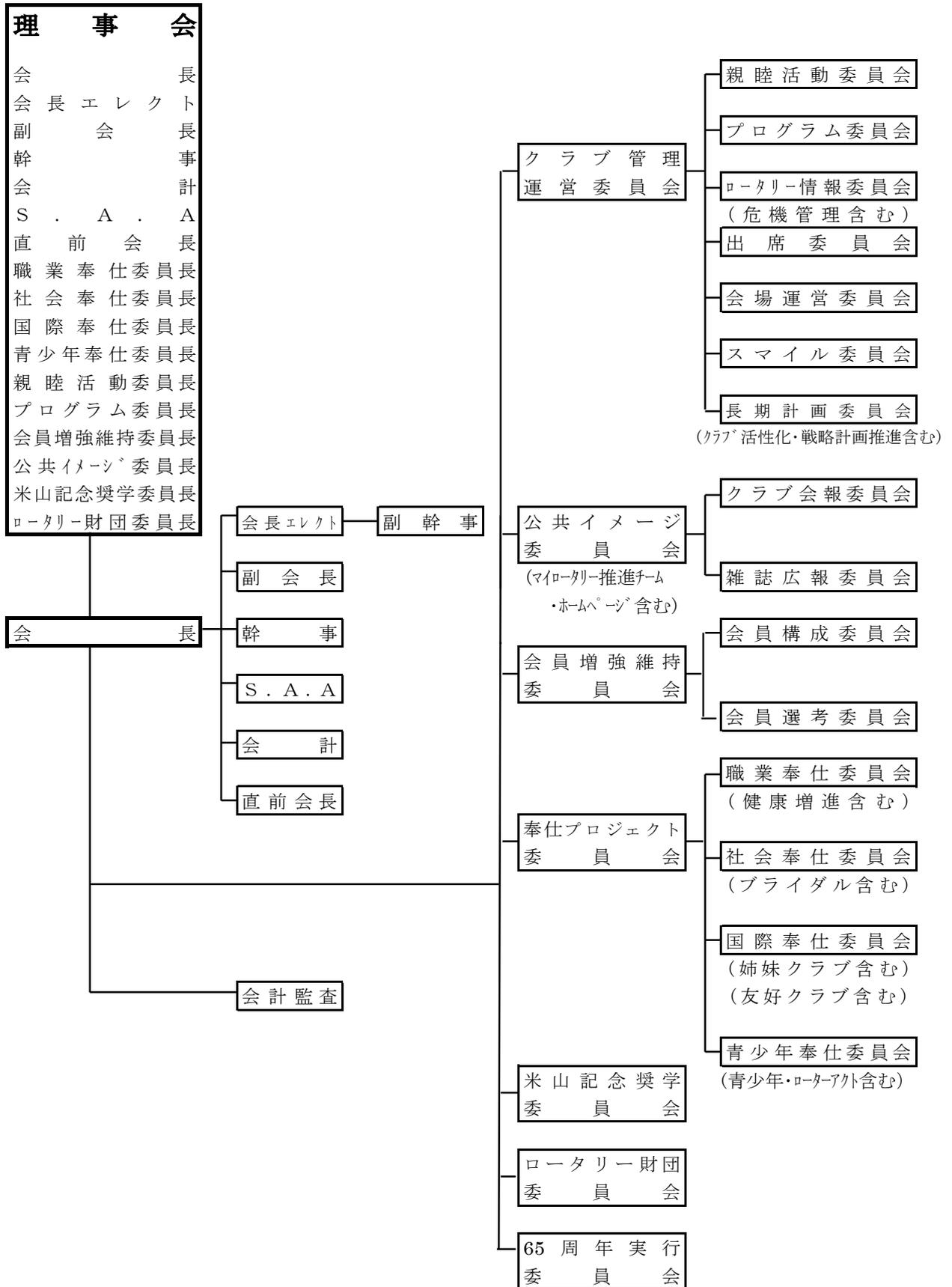
2. 越谷北ロータリークラブ

創 立	1976年5月11日(昭和51年)
R . I . 承 認	1976年5月26日(昭和51年)
特 別 代 表	桃 木 俊 平 (故人)
認 証 伝 達 式	1977年4月17日(昭和52年)

3. 越谷東ロータリークラブ

創 立	1987年5月18日(昭和62年)
R . I . 承 認	1987年6月2日(昭和62年)
特 別 代 表	坂 卷 幸 次
認 証 伝 達 式	1987年6月26日(昭和62年)

組 織 図



理事会名簿

(敬称略)

役 職	役 員 ・ 理 事		氏 名
会 長	役 員		森田 隆
会長エレクト	役 員		瀧田 貴夫
副 会 長	役 員		中島美三郎
幹 事	役 員		横家 豪
会 計	役 員		山本 完治
S. A. A	役 員		安濃 和正
直前会長	役 員		若海 宗承
職業奉仕委員長		理 事	松田 繁三
社会奉仕委員長		理 事	大塚 洋幸
国際奉仕委員長		理 事	江藤 真吾
青少年奉仕委員長		理 事	大野 凜子
親睦活動委員長		理 事	木村 淳一
プログラム委員長		理 事	中川 訓
会員増強維持委員長		理 事	濱野 世嗣
公共イメージ委員長		理 事	中村 守
米山記念奨学委員長		理 事	大沢日出夫
ロータリー財団委員長		理 事	鮫島 弘武
※ 副幹事	出席要請		井橋 英蔵
※ 長期計画委員長	出席要請		豊田 高行
※ 65周年実行委員長	出席要請		江原 武男
※ 第8Gガバナー補佐	出席要請		須賀 定吉
※ 第8Gガバナー補佐幹事	出席要請		中島 雅樹

地区役員名簿

(敬称略)

委 員 会	氏 名
諮問委員	坂巻 幸次
諮問委員	井橋 吉一
第8グループガバナー補佐	須賀 定吉
青少年交換委員長	山田 託也
補助金・V T T委員	小暮 直正
国際交流委員	近藤 正成

委員会等構成表

部門	委員会名	数	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
	会長	1	森田 隆					
	副会長	1	中島美三郎					
	会長エレクト	1	瀧田 貴夫					
	幹事	1	横家 豪					
	副幹事	1	井橋 英蔵					
	直前会長	1	若海 宗承					
	会計	1	山本 完治					
	会計監査	1	加藤 俊輔					
S . A . A	6	安濃 和正	坂巻 邦夫	新井 進	石河 秀夫	神戸 廣通	澤田 裕二	
クラブ管理運営	クラブ管理運営	8	中島美三郎	豊田 高行 木村 淳一	中川 訓 青野 智行	鮫島 弘武	鈴木 隆広	野口 和幸
	親睦活動	21	木村 淳一	小森 秀彦 米山 剛 吉井 一裕	豊田 高行 牛久 祐一 吉澤 紀親 中里 智博 吉村 尚希	中島 雅樹 鈴木 隆広 加藤 俊輔 宮部 政夫	小林 威朗 奥田 邦彦 青野 智行 増田 雄一郎	澤幡 智史 渡邊 哲康 有森 健太郎 鈴木 義隆
	プログラム	6	中川 訓	永島 信之	石河 秀夫	松田 繁三	井橋 英蔵	大野 凜子
	ロータリー情報 (危機管理含)	3	鮫島 弘武	増元 晃	若海 宗承			
	出席	6	鈴木 隆広	宮部 政夫	野見山 哲二	清水 勝吉	石垣 李枝子	森久 保晶彦
	会場運営	19	野口 和幸	大野 保司 澤幡 智史	澤石 順一 松永 賢一 森久 保晶彦 須藤 幸昌	野見山 哲二 米山 剛 中里 智博 増田 雄一郎	小暮 直正 春山 祐一郎 藤田 幹 鈴木 義隆	高橋 和彦 平野 慎也 城岡 太史郎 吉村 尚希
	スマイル	6	青野 智行	加藤 俊輔	高橋 和彦	渡邊 哲康	藤田 幹	増田 雄一郎
	長期計画(クラブ活性化・戦略計画推進含)	7	豊田 高行	石河 秀夫	中島美三郎 瀧田 貴夫	江原 武男	平田 徳久	若海 宗承
	公共イメージ (公共イメージ(マイロータリー推進チーム・ホームページ含))	2	中村 守	奥田 邦彦				
	クラブ会報	9	中村 守	小林 威朗	飯塚 忠幸 春山 祐一郎	澤幡 智史 須藤 幸昌	松永 賢一 鈴木 義隆	吉澤 紀親
雑誌広報	6	奥田 邦彦	平野 慎也	木内 英二	浅見 富司雄	大澤 弘一	中村 聡久	
会員増強	会員増強維持	10	濱野 世嗣	吉井 一裕	須賀 定吉 永島 信之	澤田 裕二 小暮 直正	中島 雅樹 山田 託也	大沢 日出夫 中里 智博
	会員構成	3	増元 晃	中島 雅樹	中村 聡久			
	会員選考	4	吉村 総一	飯塚 忠幸	坂巻 幸次	井橋 吉一		
奉仕プロジェクト	奉仕プロジェクト	5	瀧田 貴夫	松田 繁三	大塚 洋幸	江藤 真吾	大野 凜子	
	職業奉仕 (健康増進含)	13	松田 繁三	澤石 順一	桃木 俊郎 天草 大輔 石垣 李枝子	下川 雅丈 中川 美紀 青木 勲	清松 瑤一郎 大澤 弘一 宮部 政夫	木村 淳一 小室 伸和
	社会奉仕 (プライダル含)	15	大塚 洋幸	小森 秀彦 青野 智行	桃木 俊郎 岡田 直己 中村 聡久	川口 一海 天草 大輔 小室 伸和	深野 洋二 近藤 正成 有森 健太郎	清松 瑤一郎 春山 敏實 城岡 太史郎
	国際奉仕 (姉妹クラブ・ 友好クラブ含)	16	江藤 真吾	永島 信之 平野 慎也 長澤 告幸	山田 二三夫 丹田 益生 牛久 祐一	吉野 寛治 野見山 哲二 渡邊 哲康	鈴木 功 清水 勝吉 米山 剛	安濃 和正 山田 託也 城岡 太史郎
	青少年奉仕 (青少年・ ローターアクト含)	15	大野 凜子	吉村 総一 吉澤 紀親	坂巻 邦夫 鈴木 功 中川 美紀	鮫島 弘武 山本 完治 大野 保司	浅見 富司雄 増元 晃	深野 洋二 小林 威朗 石垣 李枝子
米山記念奨学	6	大沢 日出夫	山田 託也	新井 進	木内 英二	川口 一海	丹田 益生	
ロータリー財団	6	鮫島 弘武	長澤 告幸	神戸 廣通	下川 雅丈	蓮見 典史	近藤 正成	
65周年実行委員会	23	江原 武男	澤田 裕二 安濃 和正	パスト会長、64、65年度会長・幹事				
65周年会長・幹事	2	瀧田 貴夫	井橋 英蔵					

会員構成表

(2024年7月1日現在)

職業分類開放数	59分類
会員数	90名

(敬称略)

区	部 類	職業分類	会員名	事業所
イ	一般商品販売	贈答品販売	江原 武男	(有)エコ-エンタープライズ
		建築金物	深野 洋二	フカノ・マテリアル(株)
		宗教用具小売業	鈴木 隆広	(有)日 真 堂
	医療・福祉	小児科医	桃木 俊郎	(医)社団愛育会桃木診療所
			内科医	下川 雅丈
		整形外科医	清松瑠一郎	(医)社団清松クリニック
			青木 勲	アオキクリニック
			鮫島 弘武	さめしま整形外科
		歯科医	松田 繁三	(医)松田整形外科
			天草 大輔	(医)リハビリテーション天草病院
			大澤 弘一	大沢歯科医院
	耳鼻咽喉科	小室 伸和	こむろ歯科クリニック	
		中川 美紀	中川耳鼻咽喉科医院	
	福祉・介護事業	大塚 洋幸	(株)礎	
医療器具・機械	医療機器製造	新井 進	(株)新井製作所	
衣料品	洋品販売	木内 英二	(株)平和堂	
飲食業	日本料理	清水 勝吉	(有)若 松	
印刷業	オフセット印刷	奥田 邦彦	(有)吉川印刷	
キ	教 育	保 育 園	野口 和幸	(株)クラブキッズ
			小森 秀彦	(有)三 鈴
			大野 凜子	(株)すてっぷ・ばい・すてっぷ
	金属工業	板金工作	鈴木 功	(株)スズコウメタル
		表面処理	吉野 寛治	吉野電化工業(株)
	金融機関	都市銀行	森久保晶彦	(株)埼玉りそな銀行越谷支店
		地方銀行	須藤 幸昌	(株)栃木銀行越谷支店
信託銀行		藤田 幹	三井住友信託銀行(株)越谷支店	
ケ	建 設 業	建築設計	澤石 順一	(株)ジェイ・プラン
			森田 隆	アルカディア設計(有)
			増元 晃	増元建築設計事務所

区	部 類	職業分類	会員名	事業所
ケ	建 設 業	建築設計	山田 託也	(株) 慎建築設計事務所
			中村 聡久	(株) 大都設計
		住宅建設	須賀 定吉	(株) 須賀工務店
			若海 宗承	(株) 若海建設
		総合建設業	中島美三郎	池中建設 (株)
			高橋 和彦	高元建設 (株)
		建築工事業	豊田 高行	(株) 豊田工務店
		プレハブ建築	渡邊 哲康	大和ハウス工業(株)埼玉東支社
		道路舗装工事	岡田 直己	(有) 恵 建 設
		建設塗装	安濃 和正	(株) 美装工業
			青野 智行	(株) ブルーノ
		空調設備工事	野見山哲二	(株) エコトピア
		給排水衛生工事業	江藤 真吾	大阿蘇水質管理 (株)
		建築リフォーム工事業	春山 敏實	彩光建装 (株)
			春山祐一郎	彩光建装 (株)
城岡太史郎	城岡建設 (株)			
造 園 業	宮部 政夫	宮部造園土木 (株)		
コ	鉱油工業	石油製品販売	井橋 英蔵	(株) イ ハ シ
シ	車両工業	二輪自動車販売	浅見富司雄	(有) キャビン
	宗 教	神 道	小林 威朗	(宗) 久伊豆神社
		仏教(浄土宗)	中里 智博	(宗) 淨 音 寺
	証 券 業	証 券 業	有森健太郎	野村証券(株)越谷支店
	情報産業	情報産業	川口 一海	(株) 大一商事
総合広告業		中島 雅樹	(有) 雅 堂	
セ	専門サービス業	専門コンサルタント業	大野 保司	大野やすし事務所
			濱野 世嗣	(株) 浜野保険事務所
	生活関連業	冠婚葬祭業	増田雄一郎	(株) 東 冠
	製 造 業	家具製造業	坂巻 邦夫	坂巻木工 (株)
		電子部品製造業	平野 慎也	(株) マルニックス
化学薬品製造業		長澤 告幸	長沢産業 (株)	
タ	団 体	商工会議所	平田 徳久	越谷商工会議所
テ	電気及び電気工事	電気工事業	近藤 正成	日本ファクター (株)
		電気器具製造	山田二三夫	(株) 和光製作所
ヒ	ビジネスサービス	不動産管理業	神戸 廣通	(株) 大 神 戸
			小暮 直正	越谷ゴム工業 (株)

区	部 類	職業分類	会員名	事業所
ヒ	ビジネスサービス	不動産管理業	石垣李枝子	(有) 丸清興産
			吉澤 紀親	(有) ナカミチ
		不動産業	飯塚 忠幸	大幸建設 (株)
			木村 淳一	アーバンハウス (有)
			中村 守	(株) ナカミツ
			吉井 一裕	(株) 吉井ビル
			鈴木 義隆	(株) ライブリック不動産
		倉庫業	瀧田 貴夫	瀧田倉庫産業 (株)
		情報処理	井橋 吉一	(株) イハシ
		墓地・墓石販売	丹田 益生	(株) やまと石材
ビルメンテナンス	永島 信之	(株) アドバンスサービス		
貿易業	中川 訓	(株) 中川商店		
ホ	法 律	弁 護 士	坂巻 幸次	埼玉葛法律事務所
			石河 秀夫	石河法律事務所
			吉村 総一	埼玉葛法律事務所
			横家 豪	横家豪法律事務所
		税 理 士	山本 完治	山本税理士事務所
			大沢日出夫	大沢会計事務所
			加藤 俊輔	加藤税理士事務所
		司法書士	松永 賢一	松永司法書士事務所
		社会保険労務士	澤田 裕二	澤田労務管理事務所
		土地家屋調査士	蓮見 典史	(株) 蓮見設計
			澤幡 智史	澤幡智史事務所
			米山 剛	(株) 米山メジャメント
		保 険	生命保険業	吉村 尚希
レ	レクリエーション	旅 行 業	牛久 祐一	ティシイアイジャパン (株)

委員会等活動方針

会 計

担当：山本完治		
---------	--	--

【活動方針】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 適正な予算執行を行い、収支及び財政の状況を3ヶ月毎に報告する。2. 会長及び幹事との連絡を密にして、会員に分かりやすく適正な会計処理を行う。3. 会費の自動振替制度の促進をはかる。 |
|---|

会計監査

担当：加藤俊輔		
---------	--	--

【活動方針】

<p>クラブ細則第12条第4節の規定に従い、全ての資金について下記に基づき年1回監査を実施する。</p>
--

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 当クラブの資金は、細則第12条第1節の規定により、その予算を限度として執行されているか。2. 同、細則第12条第2節の規定により管理されているか。3. 同、細則第12条第3節の規定により適切な方法で支払いが行われているか。 |
|--|

S A A

S A A：安濃和正	副S A A：坂巻邦夫	委員：新井 進、石河秀夫、神戸廣通、澤田裕二
------------	-------------	------------------------

【活動方針】

<p>会長方針に従い、例会が楽しく・正しく運営されるよう心を配り、気品を守り秩序ある例会運営に努めます。</p>
--

クラブ管理運営委員会

委員長：中島美三郎	副委員長：豊田高行 木村淳一	委員：中川 訓、鮫島弘武、鈴木隆広、野口和幸 青野智行
-----------	-------------------	--------------------------------

【活動方針】

会長方針に基づき、会員相互の親睦を図り、例会の充実と会員がロータリーを学習・理解し、更にはクラブの活性化と今後のあり方など「奉仕の理念」を基本に進めて参ります。そして根本はクラブの活性化であり、主体はクラブであります。各委員会の皆様のご協力をお願い致します。

親睦活動委員会

委員長：木村淳一	副委員長：小森秀彦 米山 剛 吉井一裕	委員：豊田高行、中島雅樹、小林威朗、澤幡智史 牛久祐一、鈴木隆広、奥田邦彦、渡邊哲康 吉澤紀親、加藤俊輔、青野智行 有森健太郎、中里智博、宮部政夫 増田雄一郎、鈴木義隆、吉村尚希
----------	---------------------------	---

【活動方針】

親睦を深めるための活動を行う当委員会は、会長の活動方針である「楽しい、奉仕活動で進化変化しよう」を、親睦活動を通じて老・壮・青全ての会員が体現し、改めて「ロータリーは楽しい・素晴らしい」と感じる事業を提供していきます。

1. 結婚祝・誕生祝の記念品贈呈。
2. クリスマス例会・夫人部会等、会員家族の親睦。
3. 親睦ゴルフコンペの開催。
4. 親睦旅行の開催。
5. 夜間例会・新会員歓迎会の開催。

プログラム委員会

委員長：中川 訓	副委員長：永島信之	委員：石河秀夫、松田繁三、井橋英蔵、大野凜子
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」(作家：井上ひさしの言葉)

難しい事も愉快地理解・実行していけるように企画・活動していきます。

ロータリー情報委員会

委員長：鮫島弘武	副委員長：増元 晃	委員：若海宗承
----------	-----------	---------

【活動方針】

会長の活動方針「楽しい、奉仕活動で進化変化しよう」を基本とし、会員一人一人がロータリーを理解し、より積極的な活動が楽しくできるようにし、結果、クラブ活動が盛り上がっていくように努めます。

1. 入会3年未満の会員に対してロータリーを理解し、楽しく積極的なロータリー活動ができるようにオリエンテーションを開催する。
2. 家庭集会を前期・後期、各1回開催する。
3. 全会員がクラブ活動に参加する事が楽しくなるような環境をクラブ内に作る。

出席委員会

委員長：鈴木隆広	副委員長：宮部政夫	委員：野見山哲二、清水勝吉、石垣李枝子 森久保晶彦
----------	-----------	------------------------------

【活動方針】

1. 出席率の向上を目指し、会員の皆様に各事業への出席を促します。また MAKE-UP を活用し、出席率 100%を目指します。
2. 会員の皆様に、例会欠席時の事務局への事前連絡を要請します。
3. 受付では、クラブの「顔」として、明るく笑顔で対応致します。

会場運営委員会

委員長：野口和幸	副委員長：大野保司 澤幡智史	委員：澤石順一、野見山哲二、小暮直正 高橋和彦、松永賢一、米山 剛 春山祐一郎、平野慎也、森久保晶彦 中里智博、藤田 幹、城岡太史郎 須藤幸昌、増田雄一郎、鈴木義隆 吉村尚希
----------	-------------------	--

【活動方針】

会長・幹事・そして S・A・A と綿密に打合せを行い、例会の円滑な運営を実現するために、会場の設営や進行に注力すると共にゲストを始め、来場された全ての方々の印象に残り、ひいては会員数増になるよう寄与して参ります。

スマイル委員会

委員長：青野智行	副委員長：加藤俊輔	委員：高橋和彦、渡邊哲康、藤田 幹 増田雄一郎
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

1. 会員皆様のメッセージを正確に、素早く、明るくお伝えします。
2. 会員皆様がスマイルをして良かった、またしようと思えるように努めます。
3. スマイルをしやすい環境作りに努め、奉仕活動に貢献します。

長期計画委員会

委員長：豊田高行	副委員長：石河秀夫	委員：中島美三郎、江原武男、平田徳久 若海宗承、瀧田貴夫
----------	-----------	---------------------------------

【活動方針】

本年度は、会長活動方針「楽しい、奉仕活動で進化変化しよう」、そしてクラブビジョンとクラブ戦略計画を基にクラブを活性化し、会員が一人一人進化変化していきながら、次年度に向かえ来る創立 65 周年の準備・成功への導きも踏まえ、更には未来（創立 70 周年）も見据えた長期的なビジョンと戦略計画も考えていく。

公共イメージ委員会

委員長：中村 守	副委員長：奥田邦彦	委員：
----------	-----------	-----

【活動方針】

ロータリークラブを地域社会・市民の皆様知って頂くために広報活動を行い、公共イメージの向上に努めます。

1. クラブの奉仕活動等を SNS や市の広報誌を通じて発信し、公共イメージの向上を図ります。
2. 「ポリオ根絶」をテーマにした活動への協力を行います。
3. JAPAN ROTARY、My Rotary への登録を促します。

クラブ会報委員会

委員長：中村 守	副委員長：小林威朗	委員：飯塚忠幸、澤幡智史、松永賢一、吉澤紀親 春山祐一郎、須藤幸昌、鈴木義隆
----------	-----------	---

【活動方針】

会員に向けてクラブ全体の行事や例会プログラム・委員会活動等を記録し、ロータリー情報の取得に役立つ会報を作成します。

1. 会報の発行期限は、次回例会までとします。
2. 会報は適切に編集して会員が読みやすいように努めます。
3. 会報はクラブのホームページに掲載し、ロータリー活動を対外的に発信します。

雑誌広報委員会

委員長：奥田邦彦	副委員長：平野慎也	委員：木内英二、浅見富司雄、大澤弘一 中村聡久
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

1. 「ロータリーの友」「ガバナー月信」に対する会員の関心と、愛読を薦めロータリーに関する知識の向上を図ります。
2. 「ロータリーの友」の注目記事を会員へ紹介し、理解と関心を高めます。
3. 「ロータリーの友」への会員の投稿を勧めます。

会員増強維持委員会

委員長：濱野世嗣	副委員長：吉井一裕	委員：須賀定吉、澤田裕二、中島雅樹 大沢日出夫、永島信之、小暮直正 山田託也、中里智博
----------	-----------	---

【活動方針】

クラブが活性化していく一つの要因として「会員増強維持」が重要であると考えます。会員増強維持活動を行うにあたって、クラブの多様化・公平さ・インクルージョンによる様々な活動を通じロータリーの魅力を発信し、会員増強維持また女性会員の増加に努めて参ります。会員の皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

会員構成委員会

委員長：増元 晃	副委員長：中島雅樹	委員：中村聡久
----------	-----------	---------

【活動方針】

1. 会員増強維持委員会・会員選考委員会と連携し、ロータリアンとして相応しい会員の増強に力を入れます。
2. バランスの取れた会員構成となるよう職業分類に心掛け、会員増強に寄与すると共に、職業別会員数制限がなくなった事を受け、より現実に即した会員構成表となるよう見直しを行い、次年度に引き継ぎたいと思います。

会員選考委員会

委員長：吉村総一

副委員長：飯塚忠幸

委員：坂巻幸次、井橋吉一

【活動方針】

推薦された会員候補者のロータリアンとしての適格性を会員増強維持委員会及び会員構成委員会と連携しながら、特に下記の点に留意して選考します。

1. 人格・職業上の評判及び社会的地位はどうか。
2. 奉仕活動やボランティア活動に興味を持ち、参加できるか。
3. 例会・クラブ行事へ積極的に参加できるか。

奉仕プロジェクト委員会

委員長：瀧田貴夫

副委員長：松田繁三

委員：大塚洋幸、江藤真吾、大野凜子

【活動方針】

1. 奉仕プロジェクトが地域・国際社会との連携のもとで、時代にあった事業となるよう、そして DEI + B を広げる事に積極的に取り組み、そして会員が進化変化できるような事業となるように支援する。
2. 職業奉仕委員会・社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年奉仕委員会との連携・協力を図り、親睦とネットワークづくりの機会を通じ、各委員会の目標が達成するよう、そして笑顔が溢れる奉仕活動ができるよう推進する。

職業奉仕委員会

委員長：松田繁三

副委員長：澤石順一

委員：桃木俊郎、下川雅丈、清松瑤一郎
木村淳一、天草大輔、中川美紀、大澤弘一
小室伸和、石垣李枝子、青木 勲
宮部政夫

【活動方針】

職業を通じて人々に奉仕する事で、自らを更なる高みに上げていく事を目的とし、以下の活動を行います。

1. 毎月第一例会における「ロータリーの目的」及び「四つのテスト」唱和。
2. 会員の意識向上に繋がる職場見学会の実施。
3. 会員の健康増進に寄与する企画の実施。

社会奉仕委員会

委員長：大塚洋幸	副委員長：小森秀彦 青野智行	委員：桃木俊郎、川口一海、深野洋二 清松瑤一郎、岡田直己、天草大輔 近藤正成、春山敏實、中村聡久、小室伸和 有森健太郎、城岡太史郎
----------	-------------------	--

【活動方針】

将来の環境変化も見据えた地域社会の課題やニーズに応え、ロータリー活動の付加価値の向上に繋がる社会奉仕事業を企画・実践します。

1. 越谷市民まつりにおいて、歴史ある事業「三ノ宮卯之助に挑戦 越谷力持ち大会」の具体的な内容を検証の上、更なる付加価値の強化を目指す。
2. 地域の奉仕関連団体と連携した事業に実施。
 - 1) 地区通常枠補助金事業。
 - 2) 災害発生時に被災地等への義援金を募り、日本国内の地域やロータリアンの繋がり・結束に寄与する。

国際奉仕委員会

委員長：江藤真吾	副委員長：永島信之 平野慎也 長澤告幸	委員：山田二三夫、吉野寛治、鈴木 功 安濃和正、丹田益生、野見山哲二 清水勝吉、山田託也、牛久祐一、渡邊哲康 米山 剛、城岡太史郎
----------	---------------------------	--

【活動方針】

ロータリービジョンに則り、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。

1. カナダ／カルガリー国際大会への参加を促します。
2. 地区補助金を利用した国際奉仕事業を目指します。
3. 姉妹クラブや友好クラブとの交流を促進します。

青少年奉仕委員会

委員長：大野凜子	副委員長：吉村総一 吉澤紀親	委員：坂巻邦夫、鯨島弘武、浅見富司雄 深野洋二、鈴木 功、山本完治 増元 晃 小林威朗、中川美紀、大野保司、大塚洋幸 石垣李枝子
----------	-------------------	---

【活動方針】

奉仕活動・各イベントを通して青少年の健全育成に資する情報の発信、及びイベントの企画運営を行う。

1. 青少年交換
青少年交換留学生において、派遣学生及び来日学生の生活を委員会・カウンセラー・ホストファミリー・ROTEX との連携によりサポートを行う。
2. ローターアクトクラブ
奉仕活動の企画・運営について、協働及びサポートを行う。
3. RYLA (大学生・青年のリーダーシップ養成プログラム)
RYLA 研修は次世代リーダーの育成を目的とした研修であるため、ローターアクトクラブを始めとした幅広い方々の参加に対し支援を行う。
4. その地
地区・クラブ等のイベント・奉仕活動の情報発信を通じ、青少年のロータリー活動への理解・関心を促す。

米山記念奨学委員会

委員長：大沢日出夫	副委員長：山田託也	委員：新井 進、木内英二、川口一海、丹田益生
-----------	-----------	------------------------

【活動方針】

ロータリー米山記念奨学事業は RI に認められた世界に例をみない日本のロータリー独自の 34 地区による「他地区合同奉仕活動」です。当クラブもこの日本最大の民間奨学事業に積極的に参加し貢献していきます。

1. 全会員が米山記念奨学生と交流する環境を作り、ロータリーのマジックを生み出す。
2. 会員一人寄付額 25,000 円（普通寄付 5,000 円、特別寄付 20,000 円）を目標とし寄付者率の向上を図る。

ロータリー財団委員会

委員長：鮫島弘武	副委員長：長澤告幸	委員：神戸廣通、下川雅丈、蓮見典史、近藤正成
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

ロータリー財団の使命は、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくす事を通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにする事です。財源となる寄付を会員にお願いします。少額でもよいので幅広い会員にお願いします。

1. 年次基金／会員一人 250 ドル（年次寄付 200 ドル+ポリオプラス 50 ドル）の目標達成に努めます。
2. 恒久基金／新たな（初めての）ベネファクター 1,000 ドル× 2 名の目標達成に努めます。

65 周年実行委員会

委員長：江原武男	副委員長：澤田裕二 安濃和正	委員：パスト会長、64・65 年度会長、幹事
----------	-------------------	------------------------

【活動方針】

越谷 RC は 2026 年 5 月 9 日(土)に創立 65 周年を迎えます。森田年度では当委員会の中で、式典・記念事業等の内容を検討させて頂きながら、65 周年の瀧田年度に向けて準備を進めて参ります。

これまで半世紀以上に亘り、越谷 RC の礎を築いて頂きました先輩諸兄に敬意と感謝を申し上げ、また新会員により越谷 RC もだいぶ若返り活気も出てきております。越谷 RC の伝統と調和を守りながら肅々と 65 周年を迎えるための準備をして参りたいと思いますので、会員皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

尚、65 周年記念式典日は 2026 年 5 月 9 日（土）を予定しております。

姉妹クラブ・友好クラブ

★姉妹クラブ

「第 9675 地区 キャンベルタウンロータリークラブ」(オーストラリア)

創立日：1958 年 7 月 24 日

例会日：月曜日

例会場：P.O.BOX.116 Campbell town N.S.W 2560

	調印日	会長名	提携期間
第 1 回	1992 年 3 月 14 日 (オーストラリア)	瀧田 大樹郎	1992. 3 / 14 ~ 1994. 6 / 30
第 2 回	1994 年 4 月 12 日 (日本)	永石 数幸	1994. 7 / 01 ~ 1997. 6 / 30
第 3 回	1997 年 5 月 26 日 (オーストラリア)	小林 悦也	1997. 7 / 01 ~ 2002. 6 / 30
第 4 回	2002 年 5 月 18 日 (オーストラリア)	荒井 吉一郎	2002. 7 / 01 ~ 2007. 6 / 30
第 5 回	2007 年 3 月 13 日 (オーストラリア)	新井 進	2007. 7 / 01 ~ 2012. 6 / 30
第 6 回	2012 年 3 月 19 日 (日本)	石河 秀夫	2012. 7 / 01 ~ 2017. 6 / 30
第 7 回	2017 年 3 月 17 日 (オーストラリア)	山田 二三夫	2017. 7 / 01 ~ 2022. 6 / 30
第 8 回	2022 年 6 月 27 日 (※書面交換)	鮫島 弘武	2022. 7 / 01 ~ 2027. 6 / 30

※ 2020 ~ 23 年にかけて新型コロナウイルス感染症が世界的蔓延。

★友好クラブ

「第 2720 地区 熊本城東ロータリークラブ」

創立日：1988 年 4 月 11 日

例会日：月曜日 (12:30 ~ 13:30)

例会場：熊本ホテルキャッスル 電話 096 - 326 - 3311

事務所：〒 860 - 0846 熊本県熊本市中央区城東町 4 - 2 熊本ホテルキャッスル内

電話 096 - 354 - 4521

E メール jtrc@serc2720.org

調印日：2006 年 3 月 13 日 (2005 ~ 06 年度 濱野 豊会長)

提唱クラブ

★文教大学ローターアクトクラブ

創立日 : 2011年3月8日
R・I承認 : 2011年3月16日
創立当時ガバナー : 井橋 吉一(越谷ロータリークラブ)
スポンサークラブ : 越谷ロータリークラブ
認証状伝達式 : 2011年5月8日(2010～11年度 須賀定吉会長)
事務所 : 〒343-0818 越谷市越ヶ谷本町8-7
例会日 : 第1・第3月曜日(12:00～13:00)
例会場 : 文教大学越谷校舎内
会員数 : 8名(2024年7月1日現在)

【歴代会長一覧表】

代	年数	年度	RAC 会長	RC 会長
初代	初年度	2010～'11	林 創一郎	須賀 定吉
初代	1周年	2011～'12	林 創一郎	石河 秀夫
2	2周年	2012～'13	喬 銀凱	神戸 廣通
3	3周年	2013～'14	池 玫秀	江原 武男
4	4周年	2014～'15	劉 海華	中里 静博
5	5周年	2015～'16	劉 毅	澤田 裕二
6	6周年	2016～'17	齊 興家	山田二三夫
7	7周年	2017～'18	王 晨	安濃 和正
8	8周年	2018～'19	袁 斌	平田 徳久
9	9周年	2019～'20	李 塋	坂巻 邦夫
10	10周年	2020～'21	金 宣達	豊田 高行
11	11周年	2021～'22	章 嘉豪	鮫島 弘武
12	12周年	2022～'23	王 学朋	増元 晃
13	13周年	2023～'24	周 芷煊	若海 宗承
14	14周年	2024～'25	余 浩楠	森田 隆

ローターアクトの歌

作詞 高野辰之
東京 RC 作曲 岡野貞一

世界は広し 我らは若し いのちの限り 誇りに生кин
熱き血潮を 誠と愛に そそぎつくして 悔いあるべきや
ロータリーアクト ローターアクト われら若人
ロータリーアクト ローターアクト 若さ燃ゆるよ

年間プログラム

7 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
2	3037	誕生祝・結婚祝 所信表明	親睦活動委員会 森田 隆会長	各委員長並びに地区役員紹介 直前会長・幹事挨拶	定例理事会
9	3038	クラブ協議会	森田 隆会長	「前半」	
16	3039	クラブ協議会 帰国挨拶	森田 隆会長 ユリウス・アネアス君	「後半」 「青少年交換留学生」	
23	3040	近況報告	徐 啟懐さん	「米山記念奨学生」	
30	3041	夜間例会	親睦活動委員会	*越谷レイトアウト(BBQ)	※例会場変更
備 考	母子の健康月間				

8 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
6	3042	誕生祝・結婚祝 会員卓話	親睦活動委員会 国際奉仕委員会	「シンガポール国際大会報告」	定例理事会
13		定款第7条第1節(d)による休会			
20	3043	ゲスト卓話	大関先生	「発展途上国のドクター支援」 予定	
27	3044	会員増強月間に因んで	会員増強維持委員会	「会員増強フォーラム」	
備 考	会員増強・新クラブ結成推進月間				

9 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
3	3045	誕生祝・結婚祝 クラブ協議会	親睦活動委員会 森田 隆会長		定例理事会
10	3046	ガバナー公式訪問	RID2770ガバナー 岡村睦美様	「地区テーマと地区運営」	
17	3047				
24	3048				
備 考	基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間 ※「夫人部会」予定				

10 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
1	3049	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
8	3050				
15	3051				
22	3052	第48回越谷市民まつり 10/20(日)開催に振替			
29	3053				
備 考		地域社会の経済発展月間／米山月間 ※10月20日(日)「第49回越谷市民まつり」 ※10月21日(月)「地区大会記念ゴルフ」(グレストーン C.C)			

11 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
5	3054	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
12	3055				
19	3056	地区大会 11/16,17(土,日)開催に振替			※レイクホール
26	3057				
備 考		ロータリー財団月間／世界インタラクティブ週間(11月5日を含む1週間)※「第1回親睦ゴルフコンペ」予定 ※11月8,9日(金,土)「親睦旅行」予定 ※11月16,17日(土,日)「地区大会」(パレスホテル大宮・レイクホール)			

12 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
3	3058	誕生祝・結婚祝 年次総会	親睦活動委員会 森田 隆会長		定例理事会
10	3059				
17	3060				
24	3061	クリスマス家族例会 12/23(月)開催に振替			※例会場変更
31		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考		疾病予防と治療月間 ※12月23日(月)「クリスマス家族例会」(東京デイズニッソホテル・ミラコスタ)			

1 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
7	3062	新年夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
14	3063	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
21	3064				
28	3065	第8グループI・M(インターシティ・ミーティング)&合同新年会 2/1(土)開催に振替			※越谷コミセン
備 考	職業奉仕月間 ※2月1日(土)「I・M(インターシティ・ミーティング)」(コミセン小&ボルトティコホール)				

2 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
4	3066	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
11		法定休会(建国記念の日)			
18	3067				※例会場変更
25	3068				※例会場変更
備 考	平和構築と紛争予防月間/ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日(2月23日)				

3 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
4	3069	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会 ※例会場変更
11	3070				※例会場変更
18	3071				※例会場変更
25	3072	花見夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
備 考	水と衛生月間/世界ローターアクト週間(3月13日を含む1週間) ※3月10日(月)「I・M記念コ*ルフコン*」予定 ※3月27,28日(木,金)「PELS(会長エレクト*ラ*ニング*セミナー)」				

4 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
1	3073	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
8	3074				
15	3075				
22	3076				
29		法定休会（昭和の日）			
備 考	環境月間 ※4月18日(金)「地区クラブリーダーストップラーニングセミナー」※「第2回親睦ゴルフコンペ」予定				

5 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
6		法定休会（振替休日）			
13	3077	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
20	3078				
27	3079				
備 考	青少年奉仕月間／クラブ創立記念日：1961(昭和36)年5月9日				

6 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
3	3080	誕生祝・結婚祝	親睦活動委員会		定例理事会
		クラブ協議会	森田 隆会長	「前半」	
10	3081	クラブ協議会	森田 隆会長	「後半」	
17	3082	最終夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
24		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考	ロータリー親睦活動月間 ※6月21日～25日(土～水)「カナダ・カルガリー国際大会」				

財産目録

(2024年7月1日現在)

No.	記録簿名	数量	No.	記録簿名	数量
1	クラブ認証状	一式	9	クラブ史(10・20・30・40・50・55・60周年史)	一式
2	クラブ定款・細則	一式	10	20, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60周年事業保存書類	一式
3	理事会議事録	一式	11	姉妹クラブ協定書	一式
4	例会記録(会報)	一式	12	各年度年度計画書	一式
5	会員名簿	一式	13		
6	公式名簿半期報告書	一式	14		
7	会員推薦書	一式	15		
8	退会・出席免除届出書類	一式	16		

2. 備品等

No.	品名	数量		No.	品名	数量	
1	鐘・槌	一式	例会場	25	スライド用スクリーン	2台	例会場
2	会員BOX	3台	例会場	26	チェックライター	1台	事務局
3	木製・演台ロータリーマーク入り	1台	例会場	27	たすき(クラブ名)	80本	事務局
4	食器棚(ホワイト)	1台	例会場	28	ラベルメーカー(カオ KL・A45)	1台	事務局
5	国旗・ロータリー旗	一式	例会場	29	冷蔵庫	1台	事務局
6	ホワイトボード(例会用)	1台	例会場	30	掃除機(日立)	1台	事務局
7	スマイルBOX	1個	例会場	31	電子レンジ(日立)	1台	事務局
8	たすき(役職名)	一式	例会場	32	食器棚	1台	事務局
9	ボイスレコーダー(会報)	4台	例会場	33	扇風機	2台	例会場
10	テーブルスタンド(委員会名)	一式	例会場	34	オーディオセット(マイク2本)	1台	事務局
11	デジタルカメラ(会報)	1台	例会場	35	オーディオ台	1台	事務局
12	花瓶	10個	例会場	36	受付台	1台	事務局
13	スチール製・引違い書庫(大小)	2本	事務局	37	電話台	1本	事務局
14	スチール製・オープン扉	3本	事務局	38	送迎旗(棒付)	1本	例会場
15	木製・書棚	3本	事務局	39	エレクトーン	1台	例会場
16	会議用テーブル	8本	事務局	40	オルガン(移動用)	1台	事務局
17	会議用イス	30本	事務局	41	自転車(青少年交換学生用)	1台	事務局
18	スチールロッカー	1台	事務局	42	ノート型パソコンNEC・Fujitsu	2台	例会場
19	スチール製 事務机イス	5台	事務局	43	ノート型パソコン(ZOOM用)	2台	例会場
20	電話(965-0550)	1台	事務局	44	プロジェクター(エプソン)	1台	例会場
21	パソコン(BENQ/DELL)	3台	事務局	45	パウチ(PTC320)	1台	事務局
22	コピー複合機(SHARP MX3650FV)	1台	事務局	46	ロータリーソングボード	2枚	例会場
23	ホワイトボード	2台	事務局	47	例会用アクリル板	35枚	例会場
24	ウェルカムボード	1台	例会場				

物故会員・移籍会員名簿

物 故 会 員

(クラブ在籍中にご逝去された会員)

(敬称略)

No.	氏 名	逝去日	享年	No.	氏 名	逝去日	享年
1	平野 順三	1976.12.14	46	21	小暮 富彦	2003. 2.14	74
2	大山 精三	1978.10.31	70	22	白野敏太郎	2003. 5.22	91
3	黒田 録郎	1979.11.19	82	23	深井 一郎	2003.12.23	56
4	畔上 計治	1982. 9.28	77	24	井橋 吉蔵	2004.10.31	90
5	田宮 忠一	1984.10. 9	73	25	石川 弘	2004.12.30	45
6	豊田 幸市	1987.12.25	49	26	今村 一也	2005. 7.14	57
7	吉野 弘	1989. 4.10	45	27	荒井吉一郎	2008. 3. 5	65
8	石川 茂	1991. 7.16	66	28	青木 大和	2009. 5. 1	71
9	四ノ宮武次	1992. 2.12	71	29	飯島 亮	2009. 7.28	70
10	佐々木長四郎	1992.11.12	81	30	菊池 三郎	2010. 1. 8	70
11	中川多四郎	1993. 4.12	91	31	関口 作造	2011.11.29	93
12	中川 惣一	1994. 4. 9	66	32	豊田 良男	2012. 2. 7	75
13	早瀬川 武	1994. 5. 2	61	33	平野 平蔵	2015. 4. 4	90
14	桃木 俊平	1996. 9.27	81	34	瀧田大樹郎	2017. 2. 3	78
15	澤田 光治	1997. 8.23	68	35	大野 邦彦 (名誉会員)	2018. 4.17	93
16	大澤 史	1998.11.19	62	36	藤井 忠行	2018. 5.14	70
17	小野田正三	1998.12.21	62	37	小林 悦也 (名誉会員)	2022. 4.27	84
18	金谷 政勝	1999. 1. 7	79	38	中里 静博	2022. 9. 6	74
19	浅子 進一	2001. 2.28	87	39	小林 秀男 (名誉会員)	2024. 3. 7	85
20	木内 賢治	2001. 9. 8	66				

移 籍 会 員

(敬称略)

移籍時クラブ	移籍メンバー(現会員のみ)
越谷東クラブ	大沢昌太郎

歴代会長幹事一覧表

(敬称略)

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐
初代	初年度	1960～'61	あなたはロータリーです それを生かしましょう それを表現して下さい それを膨張させましょう	中川 多四郎(故人) 藤沢 芳雄(故人)	(第355地区) 田 誠(故)
初代	1周年	1961～'62	行動せよ/行動に努めよ/理解に 途を求めよ/指導力を高めよ	中川 多四郎(故人) 藤沢 芳雄(故人)	(第358地区) 中村 米平(故)
2	2周年	1962～'63	内部に火を燃やせ	畔上 計治(故人) 藤沢 芳雄(故人)	湯浅 恭三(故)
3	3周年	1963～'64	宇宙時代におけるロータリーの 進路	長島 喜一(故人) 岡本 元次(故人)	永沼 政久(故)
4	4周年	1964～'65	ロータリーに生きよう	岡本 元次(故人) 原島 茂(故人)	神守源一郎(故)
5	5周年	1965～'66	行動、強化、継続性	大澤 弘(故人) 大山 精三(故人)	竹田 恒徳(故)
6	6周年	1966～'67	ロータリーでよりよい世界を	桃木 俊平(故人) 山崎 正雄(故人)	松方 三郎(故)
7	7周年	1967～'68	ロータリアンとしてあなたの 資格を効果的に	黒田 録朗(故人) 中川 広(故人)	(第357地区) 川名 正義(故)
8	8周年	1968～'69	参加し敢行しよう	佐々木 長四郎(故人) 中川 広(故人)	広沢 照雄(故)
9	9周年	1969～'70	再検討し刷新しよう	大山 精三(故人) 大野 邦彦(故人)	森田 勝彦(故)
10	10周年	1970～'71	隔りを取り除こう	畔上 計治(故人) 豊島 永治郎(故人)	河野 秀夫(故)
11	11周年	1971～'72	善意はまずあなたから	井橋 吉蔵(故人) 川上 丸之(故人)	青山 幸高(故)
12	12周年	1972～'73	もう一度見直して行動しよう	豊島 永治郎(故人) 大竹 豊治(故人)	半田 利一(故)
13	13周年	1973～'74	今こそ行動のとき	会田 四郎(故人) 鈴木 義直(故人)	繁田 正一(故)
14	14周年	1974～'75	ロータリーの精神を振るい 起こせ	大野 邦彦(故人) 白野 敏太郎(故人)	渡辺 道夫(故)
15	15周年	1975～'76	人間に威信を	金谷 政勝(故人) 橋本 敏章(故人)	山口 大(故)
16	16周年	1976～'77	私はロータリーを信奉する	白野 敏太郎(故人) 小林 秀男(退会)	高橋 理平(故)
17	17周年	1977～'78	全人類を結びつけるために 奉仕せよ	平野 平蔵(故人) 青木 大和(故人)	(第257地区) 相原 茂吉(故)
18	18周年	1978～'79	手をさし伸べよう	川上 丸之(故人) 中村 昇(退会)	平野 壽(故)

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐
19	19周年	1979～'80	奉仕の灯で道を照らそう	山田 市郎(故人) 瀧田 大樹郎(故人)	綿貫 文夫(故)
20	20周年	1980～'81	時間を捧げよう 奉仕のために	坂 卷 幸次 澤 田 光治(故人)	(第257地区) 赤塚 正一(故)
21	21周年	1981～'82	ロータリーを通じて世界理解と 平和を	浅 子 進一(故人) 永 石 数幸(退会)	清水 達也(故)
22	22周年	1982～'83	人類はひとつー世界中に友情の 橋をかけよう	赤 土 興治(故人) 小 野 田 正三(故人)	秋 山 博(故)
23	23周年	1983～'84	みんなにロータリーをー みんなに奉仕を	熊 坂 悟(故人) 菊 池 三郎(故人)	中善寺登喜次
24	24周年	1984～'85	見つけよう、奉仕の新生面	渡 部 三良(故人) 小 林 悦也(故人)	福 島 良治(故)
25	25周年	1985～'86	あなたが鍵です	青 木 大和(故人) 大 澤 昌太郎(移籍)	田中徳兵衛(故)
26	26周年	1986～'87	ロータリーは希望をもたらす	小 野 田 正三(故人) 井 橋 武治(名誉)	佐 野 康博(故)
27	27周年	1987～'88	ロータリアンー奉仕に結束ー 平和に献身	鈴 木 義直(故人) 岡 崎 力男(故人)	阿 部 完市(故) 大 野 邦彦(故)
28	28周年	1988～'89	ロータリーに活力をー あなたの活力を	福 地 豊太郎(退会) 大 野 光政(名誉)	(第277地区) 金 子 雅英(故) 坂 卷 幸次
29	29周年	1989～'90	ロータリーを楽しもう！	澤 田 光治(故人) 大 塚 孝博(故人)	坂 卷 幸次 植 竹 浄水
30	30周年	1990～'91	ロータリーを高めよー 思いを尽くし熱意を尽くし	中 川 惣一(故人) 相 澤 徹雄(故人)	(第2770地区) 石 井 治(故) 赤 土 興治(故)
31	31周年	1991～'92	自分を越えた眼を	瀧 田 大樹郎(故人) 松 本 啓史(故人)	牧 内 操(故) 澁 谷 俊雄
32	32周年	1992～'93	まことの幸福は人助けから	小 林 秀男(退会) 荒 井 吉一郎(故人)	半 田 昭雄(故) 蟹 和 忠夫
33	33周年	1993～'94	行動に信念をー……… 信念は行動にー………	永 石 数幸(退会) 中 江 仁(退会)	藤 田 亘弘(退) 宮 尾 三四郎
34	34周年	1994～'95	友達になろう	菊 池 三郎(故人) 鈴 木 幹夫(退会)	田 中 作次 青 木 大和(故)
35	35周年	1995～'96	真心の行動、慈愛の奉仕、 平和に挺身	相 澤 徹雄(故人) 大 久 保 雅央(退会)	仙 崎 昭信(故) 宇 田 川 芳行
36	36周年	1996～'97	築け未来をー行動力と 先見の眼で	小 林 悦也(故人) 森 田 寛太郎(故人)	高 窪 昭雄 中 村 昇(退)
37	37周年	1997～'98	ロータリーの心を	大 野 光政(名誉) 小 林 一朗(退会)	久 世 晴雅 吉 田 豊治
38	38周年	1998～'99	ロータリーの夢を追い続けよう	松 本 啓史(故人) 中 島 美三郎	高 浜 彰男 植 竹 浄水

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事
39	39周年	1999～2000	ロータリー2000： 活動は一堅実・信望・持続	井橋 武治(名誉) 濱野 豊(退会)	吉田 豊治 森 紀二
40	40周年	2000～'01	意識を喚起し一進んで行動を	岡崎 力男(故人) 新井 進	田中 徹夫(故) 藤川 正
41	41周年	2001～'02	人類が私たちの仕事	荒井 吉一郎(故人) 鈴木 操(故人)	(第2770地区) 津田 健三 鈴木 義直(故)
42	42周年	2002～'03	慈愛の種を播きましょう	豊田 良男(故人) 水野 泰男	関口 博正 青木 康國(退)
43	43周年	2003～'04	手を貸そう	井橋 吉一 石河 秀夫	田村 亮夫 豊住 昇二(退)
44	44周年	2004～'05	ロータリーを祝おう	中島 美三郎 須賀 定吉	北 清治 大沢 昌太郎
45	45周年	2005～'06	超我の奉仕	濱野 豊(退会) 山田 二三夫	森田 武司 鯨岡 文夫 中野 政廣
46	46周年	2006～'07	率先しよう	新井 進 長谷川 文善(退会)	飯野 雪男(故) 深井 良孝 水町 俊介(退)
47	47周年	2007～'08	ロータリーは分かちあいの心	鈴木 操(故人) 中村 謙治(退会)	中村 靖治 井橋 吉一 江原 武男
48	48周年	2008～'09	夢をかたちに	水野 泰男 神戸 廣通	岩渕 均 稲垣 勝三 石川 輝次(故)
49	49周年	2009～'10	ロータリーの未来は あなたの手に	森 仁三(退会) 江原 武男	大塚 信郎 青木 伸翁 高橋 功
50	50周年	2010～'11	地域を育み、大陸をつなぐ (R I) 創立の原点に回帰しよう (地区) 半世紀の感謝を新しい時代へ (クラブ)	須賀 定吉 浅見 富司雄	井橋 吉一 神谷 治善 浅水 尚伸
51	51周年	2011～'12	こころの中を見つめよう (R I) 博愛を広げるために (R I) 奉仕の精神で地球を抱きしめよう (地区) 遊びは学び (クラブ)	石河 秀夫 坂 卷 邦夫	三國 明 大野 光政(名) 澤田 裕二
52	52周年	2012～'13	奉仕を通じて平和を (R I) ローターで素晴らしい出会いを (地区) 限りある人生だから… (クラブ)	神戸 廣通 川口 一海	田中 徳兵衛 関森 初義 長谷川 真也
53	53周年	2013～'14	ロータリーを実践し (R I) みんなに豊かな人生を (R I) 奉仕の心を行動に移そう (地区) 奉仕を通じて ふれあいを (クラブ)	江原 武男 澤田 裕二	渡邊 和良 小暮 進勇 大野 祐肇
54	54周年	2014～'15	ロータリーに輝きを (R I) ローターは人づくり そして奉仕(地区) 明るく 楽しく 和やかに (クラブ)	中里 静博(故人) 豊田 高行	濱野 英美(故) 浅水 尚伸 二川 雅之(退)
55	55周年	2015～'16	世界へのプレゼントになろう(R I) ローターは奉仕を通じて、 (地区) 人づくり、自分づくり (地区) 守ろう 繋げよう 奉仕の精神(クラブ)	澤田 裕二 安濃 和正	井原 實 中島 美三郎 豊田 高行
56	56周年	2016～'17	人類に奉仕するロータリー (R I) 楽しいロータリークラブを (地区) 作り上げよう (地区) 楽しく学ぼう 奉仕の理念 (クラブ)	山田 二三夫 平田 徳久	浅水 尚伸 小林 操 中澤 伸浩

代	年数	年度	ターゲット	会長・幹事	地区ガバナー ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事
57	57周年	2017～'18	ロータリー：変化をもたらす(R I) 新たな行動 新たな感動 (地区) 奉仕で生まれる 新たな感動 (クラブ)	安 濃 和 正 吉 澤 行 雄 (退会)	大 貫 等 原 美 光 加 藤 盛 也
58	58周年	2018～'19	インスピレーションになる (R I) すべてはクラブ活性化のために -実り豊かな奉仕を目指して- (地区) 日に新た,和やかに楽しく奉仕!(クラブ)	平 田 徳 久 若 海 宗 承	中 川 高 志 大 熊 進 水 町 俊 介 (退)
59	59周年	2019～'20	ロータリーは世界をつなぐ (R I) ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ (地区) 一人ひとりがロータリアン! (クラブ)	坂 卷 邦 夫 増 元 晃	小 林 操 新 井 進 森 田 隆
60	60周年	2020～'21	ロータリーは機会の扉を開く(R I) 新たな機会へのチャレンジで、 クラブに活力を! (地区) 明るく元気にロータリーを楽しもう!! (クラブ)	豊 田 高 行 瀧 田 貴 夫	中 里 公 造 山 崎 晶 弘 小 池 和 義
61	61周年	2021～'22	奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために (R I) COVID-19に負けずに 「クラブに変化と成長を」(地区) 会員同士の友情を深めインパクトの ある奉仕活動しよう (クラブ)	鮫 島 弘 武 森 田 隆	松 本 輝 夫 小 林 光 則 大 濱 裕 広
62	62周年	2022～'23	イマジン ロータリー (R I) 創造しよう未来への調和を (地区) - ロータリーにDEIの爽やかな風を - チャレンジ&エンジョイ ロータリー - 新しい出会いをもとめて - (クラブ)	増 元 晃 中 島 雅 樹	細 淵 雅 邦 株 竹 真 次 杉 下 智
63	63周年	2023～'24	世界に希望を生み出そう (R I) 地域に希望を、 クラブに活力を生み出そう(地区) 笑顔溢れるクラブ活動、 奉仕活動 (クラブ)	若 海 宗 承 中 村 聡 久	梨 本 松 男 (退) 染 谷 宗 一 石 川 勝 利
64	64周年	2024～'25	ザ・マジック・オブ・ロータリー (R I) 未来を見据えて変化しよう -多様性を力に- (地区) 楽しい、奉仕活動で進化変化しよう (クラブ)	森 田 隆 横 家 豪	岡 村 睦 美 須 賀 定 吉 中 島 雅 樹

会員所属委員会一覧表

(2024年7月1日現在)

◎：会長経験者 ○：幹事経験者
 創立時～2024年 ■：委員長
 2024～2025年度 ●：委員長
 (入会順 敬称略)

氏名	◎ 坂巻 幸次	◎ 井橋 吉一	◎ 中島美三郎	◎ 新井 進	◎ 山田二三夫	◎ 石河 秀夫	◎ 神戸 廣通	◎ 須賀 定吉
入会年月日	1971. 6.13	1986. 2.20	1987.11.10	1990. 1.23	1990.10. 2	1992. 3.10	1996.10. 1	1996.10. 1
経過満年月	53.00	38.04	36.07	34.05	33.08	32.03	27.08	27.08
創立時～1971								
1970～1971 (10周年)	広 報							
1971～1972	プログラム							
1972～1973	広 報							
1973～1974	広 報							
1974～1975	会員 増 強							
1975～1976	雑 誌							
1976～1977	会員 選 考							
1977～1978	会 報							
1978～1979	社 会 奉 仕							
1979～1980	副 会 長							
1980～1981 (20周年)	会 長							
1981～1982	R 情 報 米 山 奨 学							
1982～1983	R 情 報							
1983～1984	R 情 報 健 康							
1984～1985	健 康 米 山 奨 学							
1985～1986	国 際 奉 仕	親 睦 活 動						
1986～1987	拡 大	S . A . A						
1987～1988	会員 増 強	広 報	出 席					
1988～1989	ガバナー・ノミネーター 分 区 代 理	国 際 奉 仕	親 睦 活 動 社 会 奉 仕					
1989～1990	ガバナー 選 考 ・ 広 報	国 際 奉 仕	S . A . A	親 睦 活 動				
1990～1991 (30周年)	直前・ガバナー 親 睦 活 動	親 睦 活 動	社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	会 場 運 営			
1991～1992	R 情 報 雑 誌	国 際 奉 仕	出 席 拡 大	会 国 際 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動		
1992～1993	R 情 報	青 少 年	拡 大 国 際 奉 仕	会 報	国 際 奉 仕	親 睦 活 動		
1993～1994	R 情 報	青 少 年	会 員 増 強 社 会 奉 仕	会 報	国 際 奉 仕	会 報		
1994～1995	R 情 報	R 財 団	出 席 R 財 団	会 場 運 営	親 睦 活 動	会 報		
1995～1996	R 情 報	会 報	プログラム	姉妹クラブ	R 財 団	会 報		
1996～1997	会員 増 強	地 域 発 展	環 境 保 全	協 同 奉 仕 国 奉 ・ 姉 妹 ク	国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動
1997～1998	S . A . A プログラム・40周年	社 会 奉 仕	副 幹 事 S . A . A	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	会 場 運 営	会 報	S . A . A 親 睦 活 動
1998～1999	会員 増 強 40周年準備	プログラム	幹 事	新 世 代 姉 妹 ク ラ ブ	姉 妹 ク ラ ブ	雑 誌	会 報	会 場 運 営 国 奉 ・ プ ロ グ ラ ム

氏名	◎ 坂巻幸次	◎ 井橋吉一	◎ 中島美三郎	◎ 新井 進	◎ 山田二三夫	◎ 石河 秀夫	◎ 神戸廣通	◎ 須賀 定吉
1999～2000	会員増強 40周年準備	姉妹クラブ	職業分類	副幹事	米山奨学	雑誌	親睦活動 新世代	会報
2000～2001 (40周年)	会員増強 プログラム	職業奉仕	職業分類 親睦活動	幹事	親睦活動 国際奉仕	雑誌・広報	社会奉仕	会場運営
2001～2002	会員増強 プログラム	広報	職業分類 職業奉仕	職業奉仕 類	S・A・A	プログラム	親睦活動	社会奉仕
2002～2003	会員増強 米山奨学	会長エレクト クラブ奉仕	親睦活動	職業分類 国際奉仕	職業奉仕	副幹事	国際奉仕 社会奉仕	新世代 社会奉仕 姉妹クラブ
2003～2004	S・A・A 100周年記念	会長 100周年記念	会長エレクト クラブ奉仕 100周年記念	職業分類 国際奉仕	親睦活動	幹事 100周年記念	親睦活動	副幹事 100周年記念
2004～2005	会員増強 米山奨学 100周年記念	R情報 100周年記念	会長 100周年記念	国際奉仕	副幹事 100周年記念	職業分類 100周年記念	会員増強 社会奉仕	幹事 100周年記念
2005～2006	会員増強 R財団	R情報 プログラム	R情報 プログラム 45周年実行	会長エレクト クラブ奉仕	幹事 雑誌・広報	職業分類 会	プログラム	職業分類 国際奉仕
2006～2007	会員選考 50周年準備	R情報	国際奉仕 R情報 プログラム	会長	職業分類 姉妹クラブ	職業分類	職業奉仕 会員増強	プログラム 職業分類
2007～2008	50周年実行 会員選考	親睦活動 50周年実行	R情報 50周年実行 クラブ管理運営 プログラム	R情報 50周年実行	R財団 職業分類	会員増強	副幹事 クラブ広報	職業分類 プログラム 会員増強
2008～2009	職業奉仕 米山奨学 50周年実行	ガバナー・ミニ 国際奉仕 50周年実行	50周年実行 会員増強 国際奉仕	国際奉仕 R情報奉仕 プロジェクト 50周年実行	会長エレクト 奉仕プロジェクト 職業分類	社会奉仕 奉仕プロジェクト	幹事 50周年実行	会員増強 50周年度会長
2009～2010	会員選考 米山奨学 50周年実行	ガバナー・エレクト 会員選考 50周年実行	50周年実行 プログラム	R情報 クラブ管理運営 R財団 50周年実行	雑誌広報	プログラム	職業分類	会長エレクト 奉仕プロジェクト
2010～2011 (50周年)	プログラム 米山奨学 50周年実行	ガバナー 親睦活動 50周年実行	50周年実行 親睦活動 長期計画	副会長 クラブ管理運営 国際奉仕 50周年実行	職業奉仕	会長エレクト 奉仕プロジェクト 長期計画	プログラム 長期計画 職員	会長 50周年実行
2011～2012	会員増強 新世代	直前・ガバナー 会員選考	長期計画 国際奉仕	長期計画 クラブ管理運営	親睦活動 米山奨学	会長	会長エレクト 職業分類 奉仕プロジェクト 長期計画 新世代	R情報 長期計画 新世代
2012～2013	会員増強 R財団	職員選考 奉仕	プログラム クラブ管理運営 国際奉仕	プログラム 新世代	長期計画 国際奉仕	R情報	会長	R情報 新世代
2013～2014	出会 会員増強 国際奉仕	プログラム 雑誌広報 国際奉仕	親睦活動 クラブ管理運営 プログラム	クラブ管理運営 長期計画 プログラム	副会長 クラブ管理運営 R財団	R情報 長期計画 R財団	R情報 長期計画 新世代	R情報 国際奉仕 クラブ管理運営
2014～2015	会員増強	会長 長期計画 増強	副会長 クラブ管理運営 55周年実行	S・A・A	親睦活動 青少年奉仕	S・A・A R情報 クラブ管理運営	米山奨学 情報	長期計画 55周年実行 クラブ管理運営
2015～2016	会員増強 会員選考	長期計画 会員増強	会員増強 55周年実行	S・A・A	会長エレクト 奉仕プロジェクト	会員選考	副会長 クラブ管理運営 R情報	長期計画 55周年実行 クラブ管理運営
2016～2017	長期計画	長期計画	R財団 会員増強 青少年奉仕	会員選考	会長	長期計画 クラブ管理運営 会員選考	S・A・A	会員増強
2017～2018	プログラム 長期計画	プログラム 長期計画	S・A・A プログラム 国際奉仕	会員選考	R情報 長期計画	副会長 クラブ管理運営 長期計画	会員増強 R財団	親睦活動 クラブ管理運営
2018～2019	長期計画 60周年実行	プログラム 60周年実行	米山奨学 会員増強 60周年実行	長期計画 60周年実行	S・A・A R情報 長期計画 60周年実行	長期計画 クラブ管理運営 60周年実行	プログラム 会員選考 60周年実行	副会長 長期計画 60周年実行
2019～2020	長期計画 60周年実行	プログラム 60周年実行	S・A・A 社会奉仕 60周年実行	S・A・A 長期計画 60周年実行	副会長 R情報 長期計画 クラブ管理運営 60周年実行	60周年実行 プログラム 会員増強	会員選考 60周年実行	S・A・A 長期計画 会員増強 60周年実行
2020～2021 (60周年)	S・A・A 長期計画 60周年実行	プログラム 会員増強 60周年実行	会員増強 親睦活動 60周年実行	S・A・A 会員増強 60周年実行	S・A・A 国際奉仕 60周年実行	60周年実行 長期計画	S・A・A 長期計画 60周年実行	S・A・A 長期計画 60周年実行
2021～2022	会員選考	長期計画	長期計画 クラブ管理運営	長期計画 国際奉仕	米山奨学 会員選考	S・A・A 国際奉仕	長期計画	長期計画
2022～2023	会員選考	米山奨学	S・A・A 長期計画	S・A・A	S・A・A R財団	国際奉仕	長期計画 R財団	副会長 長期計画 クラブ管理運営
2023～2024	会員選考	プログラム	65周年準備 プログラム 長期計画	S・A・A	S・A・A 国際奉仕	S・A・A 長期計画 65周年準備	S・A・A 長期計画	S・A・A 65周年準備
2024～2025	会員選考 65周年実行	会員選考 65周年実行	●副会長 ●クラブ管理運営 長期計画 65周年実行	S・A・A 米山奨学 65周年実行	国際奉仕 65周年実行	S・A・A プログラム 長期計画 65周年実行	S・A・A R財団 65周年実行	会員増強 65周年実行

氏名	桃木 俊郎	◎ 江原 武男	◎ 澤田 裕二	◎ 坂巻 邦夫	木内 英二	○ 川口 一海	◎ 鮫島 弘武	吉野 寛治
入会年月日	1997. 2.25	1997. 3.18	1998. 3. 3	1998. 9.22	2002.6.4	2002. 6.18	2003. 1.21	2004. 8.10
経過満年月	27.04	27.03	26.03	25.09	22.00	22.00	21.05	19.10
創立時～1991 (30周年)								
1991～1992								
1992～1993								
1993～1994								
1994～1995								
1995～1996								
1996～1997	親睦活動	親睦活動						
1997～1998	出席	新世代	親睦活動					
1998～1999	社会奉仕	会報・雑誌 社会奉仕	出席 社会奉仕	親睦活動				
1999～2000	職業奉仕 国際奉仕	社会奉仕	会報	親睦活動				
2000～2001 (40周年)	親睦活動	親睦活動 会場運営	会報	会報				
2001～2002	親睦活動	新世代	会場運営	会場運営	親睦活動	親睦活動		
2002～2003	プログラム	会場運営	米山奨学	出席	新睦活動 新会場運営	親睦活動	親睦活動	
2003～2004	R財団	新世代 姉妹親睦活動	会員増強 社会奉仕	プログラム 会場運営 新世代・会増	会場運営 新世代	親睦活動 新世代	親睦活動	
2004～2005	新世代	新世代 姉妹クラブ	社会奉仕 姉妹クラブ	雑誌・広報 新世代	会報	親睦活動	親睦活動 国際奉仕	親睦活動
2005～2006	R財団	国際奉仕	出席	新世代	会場運営 新世代	会場運営	親睦活動 国際奉仕	国際奉仕 国際奉仕 プログラム
2006～2007	雑誌・広報	会員増強 職業奉仕	雑誌・広報 会員増強	親睦活動 国際奉仕	出席	社会奉仕	姉妹クラブ 社会奉仕	姉妹クラブ
2007～2008	雑誌広報	職業奉仕	クラブ広報 社会奉仕	社会奉仕 新世代	ホームページ クラブ広報 新世代	クラブ広報	職業奉仕 姉妹クラブ	姉妹クラブ 奉仕プロジェクト クラブ広報
2008～2009	社会奉仕	副幹事 国際奉仕 プログラム	職業奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト	社会奉仕 (新世代担当)	プログラム クラブ管理運営	国際奉仕 奉仕プロジェクト (ホームページ担当)	プログラム 国際奉仕 奉仕プロジェクト (姉妹クラブ担当)
2009～2010	雑誌社会 奉仕	幹事 50周年実行	職業奉仕 奉仕プロジェクト	スマイル 職業奉仕	クラブ会報 社会奉仕	会員増強	会員増強 国際奉仕	国際奉仕 R財団
2010～2011 (50周年)	社会奉仕	会員選考 職業分類	クラブ会報 会員選考	副幹事 新世代 ライター準備	新世代 クラブ会報	米山奨学 会員増強	雑誌広報 国際奉仕	会員増強 国際奉仕
2011～2012	R財団	プログラム 職業分類 国際奉仕 新世代	クラブ会報	幹事	クラブ広報 クラブ会報 国際奉仕	副幹事 親睦活動	米山奨学 新世代	国際奉仕 奉仕プロジェクト
2012～2013	職業奉仕 米山奨学	会長エレクト 職業奉仕 プロジェクト	副幹事 親睦活動	職業分類 長期計画 新世代	クラブ会報 国際奉仕	幹事	国際奉仕 奉仕プロジェクト 職業奉仕	国際奉仕
2013～2014	プログラム 職業奉仕	会長	幹事	長期計画 雑誌 職業分類 新世代	クラブ会報 新世代	プログラム 長期計画 職業分類	職業奉仕 国際奉仕	会員増強 国際奉仕
2014～2015	長期計画 青少年奉仕	R情報	会長エレクト 奉仕プロジェクト 職業分類	職業分類 国際奉仕 奉仕プロジェクト	親睦活動 青少年奉仕	プログラム クラブ管理運営 職業分類	社会奉仕 R財団	職業奉仕 国際奉仕
2015～2016	長期計画 社会奉仕	R情報 社会奉仕	会長 職業分類	青少年奉仕 R財団	R財団	職業分類 米山奨学	青少年奉仕 米山奨学	国際奉仕

氏名	桃木俊郎	◎ 江原武男 ○	◎ 澤田裕二 ○	◎ 坂巻邦夫 ○	木内英二	○ 川口一海	◎ 鮫島弘武	吉野寛治
2016～2017	職業奉仕団 R財団	R情報 クラブ管理運営 親睦活動 R財団	職業分類 R情報 青少年奉仕	青少年奉仕 米山奨学	プログラム 雑誌広報	親睦活動 プログラム	職業奉仕 国際奉仕	国際奉仕 奉仕プロジェクト
2017～2018	米山奨学	プログラム クラブ管理運営	R財団 R情報 青少年奉仕	青少年奉仕	雑誌広報 クラブ広報	会員増強 青少年奉仕	職業奉仕	プログラム 国際奉仕
2018～2019	会員選考 職業奉仕	長期計画 60周年実行	プログラム R情報 クラブ管理運営 60周年実行	会長エレクト 奉仕プロジェクト 60周年実行	スマイル R財団	親睦活動 スマイル	青少年奉仕 奉仕プロジェクト 職業奉仕	国際奉仕 奉仕プロジェクト
2019～2020	職業奉仕	R財団 国際奉仕 60周年実行	親睦活動 60周年実行	会 60周年実行	米山奨学 スマイル	会員増強 R財団	国際奉仕 米山奨学	プログラム 会員選考 国際奉仕
2020～2021 (60周年)	会員選考 職業奉仕	S.A.A 長期計画 60周年実行	親睦活動 クラブ管理運営 国際奉仕 60周年実行	R情報 国際奉仕 60周年実行	会員選考 会 会場運営	会場運営 職業奉仕	会長エレクト 奉仕プロジェクト 長期計画	親睦活動 青少年奉仕
2021～2022	職業奉仕	副会長 クラブ管理運営	S.A.A 会員増強	青少年奉仕 S.A.A R情報 奉仕プロジェクト	職業奉仕 奉仕プロジェクト	会員増強	会 長	職業奉仕 国際奉仕
2022～2023	職業奉仕	長期計画 クラブ管理運営	職業奉仕 米山奨学	R情報 米山奨学 クラブ管理運営 青少年奉仕	雑誌広報 奉仕	会員増強 社会奉仕	R情報	S.A.A 会 国際奉仕
2023～2024	職業奉仕	長期計画 クラブ管理運営	米山奨学	会員選考 青少年奉仕	雑誌広報 奉仕 職業	親睦活動 職業奉仕	R情報 青少年奉仕	プログラム
2024～2025	職業奉仕 社会奉仕	長期計画 ●65周年実行	S.A.A 会員増強 65周年実行	S.A.A 青少年奉仕 65周年実行	雑誌広報 米山奨学	社会奉仕 米山奨学	●R情報 クラブ管理運営 ●R財団 青少年奉仕 65周年実行	国際奉仕

氏名	下川 雅文	○ 浅見富司雄	◎ 豊田 高行	深野 洋二	鈴木 功	山本 完治	◎ 安濃 和正	清松瑤一郎
入会年月日	2004. 8.10	2005. 1.29	2005. 3. 8	2006. 3. 7	2006. 4.11	2006. 4.11	2007. 1.16	2007.12.18
経過満年月	19.10	19.05	19.03	18.03	18.02	18.02	17.05	16.06
創立時～2001 (40周年)								
2001～2004								
2004～2005	親睦活動	親睦活動	親睦活動					
2005～2006	雑誌・広報 親睦国際奉仕	出親睦 社会奉仕	社会奉仕 親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動		
2006～2007	雑誌・広報	親睦活動 会場運営	会スマイ 報	親睦活動 会場運営	親睦活動	親睦活動 会	親睦活動	
2007～2008	職業奉仕	親睦活動 クラブ管理運営	クラブ会報 クラブ広報 国際奉仕	会場運営 クラブ管理運営	スマイル	スマイル ホームページ	親睦活動 会場運営	親睦活動
2008～2009	職業奉仕 クラブ会報	会場運営 クラブ管理運営 50周年度幹事	親睦活動 クラブ管理運営	親睦活動 クラブ会報	出 席	出 席 クラブ管理運営	親睦活動 会場運営 職業奉仕	職業奉仕
2009～2010	職業奉仕	副幹事 プログラム 国際奉仕	職業奉仕	親睦活動 クラブ会報	クラブ会報 社会奉仕	国際奉仕	親睦活動 会場運営 クラブ管理運営 親睦活動	職業奉仕
2010～2011 (50周年)	職業奉仕	幹事 50周年実行	会員増強	会場運営 クラブ管理運営	社会奉仕	社会奉仕 新世代	社会奉仕 奉仕プロジェクト	R 財団
2011～2012	親睦活動 プログラム	職業分類 新世代	雑誌広報 会員増強	プログラム 会場運営 国際奉仕	スマイル クラブ管理運営	社会奉仕 奉仕プロジェクト	親睦活動 クラブ管理運営 社会奉仕	職業奉仕
2012～2013	会員増強 職業奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト 職業分類 R 財団	新世代	会員選考 米山奨学	クラブ会報	会場運営 社会奉仕	会員増強 新世代	職業奉仕 米山奨学
2013～2014	職業奉仕	プログラム 職業分類 クラブ管理運営 長期計画	副幹事	クラブ広報 クラブ会報	社会奉仕	スマイル クラブ管理運営 会員増強	新世代 奉仕プロジェクト 国際奉仕	職業奉仕 R 財団
2014～2015	親睦活動	会員増強	幹事	社会奉仕 奉仕プロジェクト	青少年奉仕 R 財団	会員選考 親睦奉仕	副幹事 国際奉仕	職業奉仕 米山奨学
2015～2016	職業奉仕	R 財団	親睦活動 職業分類	青少年奉仕 奉仕プロジェクト 社会奉仕	会員増強 職業奉仕	会 計	幹事	職業奉仕
2016～2017	職業奉仕	プログラム	プログラム クラブ管理運営 職業分類 社会奉仕	雑誌広報	米山奨学	会 計	会長エレクト 奉仕プロジェクト 会員増強 職業分類	職業奉仕 青少年奉仕
2017～2018	職業奉仕	S . A . A 会員増強	職業分類 米山奨学	雑誌広報 青少年奉仕	国際奉仕	会 計 社会奉仕	会 計 職業分類 長期	職業奉仕 国際奉仕
2018～2019	職業奉仕	プログラム 会員増強	R 財団 親睦活動 60周年実行 会長エレクト 奉仕プロジェクト 会員増強 60周年実行	社会奉仕 青少年奉仕	国際奉仕 青少年奉仕	会 計 社会奉仕	職業分類 R 情報 60周年実行	職業奉仕
2019～2020	職業奉仕	親睦活動 R 財団	親睦活動 奉仕プロジェクト 会員増強 60周年実行	出 席 クラブ管理運営 青少年奉仕	国際奉仕	会 計 青少年奉仕	クラブ管理運営 R 情報 国際奉仕 60周年実行	職業奉仕
2020～2021 (60周年)	職業奉仕 青少年奉仕	職業奉仕 奉仕プロジェクト 米山奨学	会 計 長期 60周年実行	国際奉仕 青少年奉仕	親睦活動 米山奨学	会 計 国際奉仕 監査	R 情報 奉仕 クラブ管理運営 奉仕プロジェクト 親睦活動 60周年実行	職業奉仕 R 財団
2021～2022	職業奉仕 青少年奉仕	会員増強 職業奉仕	R 情報	スマイル 青少年奉仕	国際奉仕 R 財団	会 計 監査 プログラム 会員選考	プログラム クラブ管理運営	社会奉仕 R 財団
2022～2023	職業奉仕 青少年奉仕	長期計画	会員増強 親睦活動 R 情報	社会奉仕 青少年奉仕	国際奉仕	会 計 監査 会場運営	R 財団 親睦活動 国際奉仕 奉仕プロジェクト 会員増強 青少年奉仕	米山奨学
2023～2024	青少年奉仕	親睦活動 長期計画	副幹事 クラブ管理運営 R 情報 ●長期計画	会員選考 米山奨学	青少年奉仕 米山奨学	会 計 職業奉仕	会 計 国際奉仕 青少年奉仕	R 財団
2024～2025	職業奉仕 R 財団	雑誌広報 青少年奉仕	クラブ管理運営 親睦活動 65周年実行	社会奉仕 青少年奉仕	国際奉仕 青少年奉仕	●会 計 青少年奉仕	●S . A . A 国際奉仕 65周年実行	職業奉仕 社会奉仕

氏名	澤石 順一	丹田 益生	松田 繁三	◎ ○ 森田 隆	野見山 哲二	◎ ○ 平田 徳久	蓮見 典史	◎ ○ 若海 宗承
入会年月日	2008. 6. 3	2008. 7. 8	2008.11. 4	2010. 1.12	2010. 3. 2	*2010. 6. 1	2010. 7.13	2010.11.30
経過満年月	16.00	15.11	15.07	14.05	14.03	14.00	13.11	13.07
創立時～2001 (40周年)								
2001～2004								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008	親睦活動							
2008～2009	親睦活動	親睦活動	親睦活動					
2009～2010	出クラブ会 席報	親睦活動 会場運営	親睦活動 職業奉仕	親睦活動	親睦活動	親睦活動		
2010～2011 (50周年)	クラブ広報 職業奉仕	雑誌・広報 会場運営	職業奉仕 米山奨学	親睦活動 スマイル	親睦活動 出クラブ会 席報	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2011～2012	プログラム クラブ管理運営 雑誌親睦 活動	雑誌広報 会場運営	親睦活動 職員増強	親睦活動 職業奉仕	スマイル 社会奉仕	出クラブ会 席報	出雑誌 席報	親睦活動 会場運営 クラブ会報
2012～2013	雑誌親睦 活動 親睦 活動 新世代	会場運営 会員増強	プログラム 社会奉仕	出クラブ会 新世代 席報	社会奉仕 社会奉仕 プロジェクト	親睦活動 社会奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 クラブ会報 社会奉仕
2013～2014	雑誌広報 職業奉仕	会員増強	新R世代 財団	会場運営	スマイル 社会奉仕	社会奉仕 社会奉仕 プロジェクト	スマイル	親睦活動 社会奉仕
2014～2015	国際奉仕	青少年奉仕	米山奨学	クラブ広報 クラブ会報 社会奉仕	職業奉仕 米山奨学	出クラブ会 席報 クラブ管理運営 社会奉仕	職業奉仕 社会奉仕 プロジェクト	スマイル クラブ管理運営 社会奉仕
2015～2016	国際奉仕 親睦活動 プロジェクト	プログラム 国際奉仕	青少年奉仕 R財団	職業奉仕 社会奉仕 プロジェクト	社会奉仕	副幹事 社会奉仕	職業奉仕	親睦活動 クラブ管理運営
2016～2017	会場運営 国際奉仕	親睦活動 クラブ管理運営	職業奉仕	出青少年奉仕	会場運営 クラブ管理運営	幹事	会員増強 職業奉仕	親睦活動 国際奉仕 青少年奉仕
2017～2018	スマイル 雑誌	R財団	会員増強 職業奉仕	社会奉仕 社会奉仕 プロジェクト	会場運営 青少年奉仕	会長エレクト 社会奉仕 職業分類 プロジェクト	国際奉仕 米山奨学	副幹事 親睦活動
2018～2019	会場運営 国際奉仕	国際奉仕 R財団	職業奉仕	社会奉仕	社会奉仕 青少年奉仕	会長エレクト 職業分類 60周年実行 職業分類 S.A.A R情報 長期計画 60周年実行	会員増強 青少年奉仕	幹事 60周年実行
2019～2020	会場運営 クラブ管理運営 職業奉仕	親睦活動 プログラム	職業奉仕 青少年奉仕	職業奉仕	職業奉仕 青少年奉仕	長期計画 クラブ管理運営 R情報 国際奉仕 60周年実行	R財団 職業奉仕	親睦活動 職員増強 職業分類
2020～2021 (60周年)	クラブ会報 国際奉仕	国際奉仕 R財団	会員増強 青少年奉仕	副幹事 親睦活動	職業奉仕 青少年奉仕	長期計画 R情報 クラブ管理運営 国際奉仕 60周年実行	プログラム 青少年奉仕	プログラム 会員構成 クラブ管理運営
2021～2022	親睦活動 会場運営	社会奉仕 国際奉仕	社会奉仕 米山奨学	幹事	親睦活動 職業奉仕	R情報 R財団 クラブ管理運営 国際奉仕	社会奉仕 青少年奉仕	会員構成 会場運営 国際奉仕 R財団
2022～2023	国際奉仕 青少年奉仕	職業奉仕 国際奉仕	職業奉仕 青少年奉仕	会員増強 会員構成	会場運営 社会奉仕	会員選考 長期計画 国際奉仕	R財団	会長エレクト 社会奉仕 プロジェクト 会員選考
2023～2024	国際奉仕 R財団	国際奉仕	R財団	会長エレクト 社会奉仕 プロジェクト 会員構成	出青少年奉仕 席報	S.A.A 長期計画	会員選考	会長
2024～2025	会場運営 職業奉仕	国際奉仕 米山奨学	●職業奉仕 社会奉仕 プロジェクト プログラム	●会 65周年実行	出会場 席報 国際奉仕	長期計画 65周年実行	R財団	R情報 長期計画 65周年実行

*再入会日

氏名	◎ 増元 晃	飯塚 忠幸	木村 淳一	吉村 総一	岡田 直己	清水 勝吉	○ 中島 雅樹	中村 守
入会年月日	2011. 2.15	2011.11. 1	2012. 1.10	2012. 4. 3	2012. 4. 3	2012.12.18	2013. 1.29	2013. 1.29
経過満年月	13.04	12.07	12.05	12.02	12.02	11.06	11.05	11.05
創立時～2001 (40周年)								
2001～2004								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)	親睦活動							
2011～2012	出場運営	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動			
2012～2013	親睦活動 スマイル	親睦活動 新世代	親睦活動 新世代	親睦活動 新世代	親睦活動 新世代	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2013～2014	社会奉仕 新世代	クラブ会報 社会奉仕	クラブ会報 社会奉仕	クラブ会報 社会奉仕	クラブ会報 社会奉仕	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2014～2015	青少年奉仕 奉仕プロジェクト	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2015～2016	社会奉仕 奉仕プロジェクト 青少年奉仕	出山奨学 席学	出山奨学 席学	出山奨学 席学	出山奨学 席学	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2016～2017	職業奉仕 奉仕プロジェクト 青少年奉仕	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2017～2018	青少年奉仕 奉仕プロジェクト	クラブ会報	クラブ会報	クラブ会報	クラブ会報	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2018～2019	副幹事 60周年実行	雑誌広報 R財団	雑誌広報 R財団	雑誌広報 R財団	雑誌広報 R財団	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2019～2020	幹事 60周年実行	雑誌広報 公共イメージ	雑誌広報 公共イメージ	雑誌広報 公共イメージ	雑誌広報 公共イメージ	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2020～2021 (60周年)	会員構成 青少年奉仕	会場運営 スマイル	会場運営 スマイル	会場運営 スマイル	会場運営 スマイル	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2021～2022	会長 奉仕プロジェクト 長期計画 構成	会場運営 クラブ会報	会場運営 クラブ会報	会場運営 クラブ会報	会場運営 クラブ会報	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2022～2023	会長 構成	スマイル	スマイル	スマイル	スマイル	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2023～2024	R情報	会場運営	会場運営	会場運営	会場運営	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2024～2025	●会員構成 R情報 青少年奉仕 65周年実行	クラブ会報 会員選考	クラブ会報 会員選考	クラブ会報 会員選考	クラブ会報 会員選考	親睦活動	親睦活動	親睦活動

氏名	小林 威朗	天草 大輔	中川 美紀	大沢 日出夫	○ 横家 豪	永島 信之	○ 瀧田 貴夫	小暮 直正
入会年月日	2013. 6.18	2013.11.19	2014. 5.13	2014. 5.13	2014. 5.13	2014. 7. 1	2014. 7. 1	2014. 9.30
経過満年月	11.00	10.07	10.01	10.01	10.01	10.00	10.00	9.09
創立時～2001 (40周年)								
2001～2004								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013	親睦活動							
2013～2014	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動			
2014～2015	親睦活動 スマイル	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動	親睦活動 出席	親睦活動	親睦活動	親睦活動	親睦活動
2015～2016	クラブ会報	クラブ会報	クラブ会報 青少年奉仕	出 席 会 員 増 強	出 ス マ イ ル ス ク ラ ブ 会 報	ス マ イ ル マ プ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2016～2017	R 財 団	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営	出 席 ク ラ ブ 管 理 運 営	ス マ イ ル マ プ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2017～2018	米 山 奨 学	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	出 席 ク ラ ブ 管 理 運 営	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 員 増 強	親 睦 活 動 会 場 運 営
2018～2019	R 財 団	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	ク ラ ブ 広 報 ク ラ ブ 会 報	会 場 運 営 ク ラ ブ 管 理 運 営	親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト
2019～2020	R 財 団	職 業 奉 仕 米 山 奨 学	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 雑 誌 広 報	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	会 場 運 営 国 際 奉 仕	副 幹 事 会 員 増 強	親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営
2020～2021 (60周年)	会 員 増 強 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	雑 誌 広 報 職 業 奉 仕	会 計 計 画 会 場 運 営	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	幹 事 会 員 増 強	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報
2021～2022	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	会 計 計 画 ス マ イ ル	親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営	プ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 会 報	プ ロ グ ラ ム 会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕
2022～2023	プ ロ グ ラ ム 社 会 奉 仕	雑 誌 広 報	会 員 増 強 職 業 奉 仕	会 計 計 画 職 業 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	プ ロ グ ラ ム 会 員 増 強	会 場 運 営 会 員 増 強
2023～2024	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕	雑 誌 広 報 職 業 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	副 幹 事 親 睦 活 動	会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強 国 際 奉 仕	会 員 増 強
2024～2025	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	● 米 山 奨 学 会 員 増 強	● 幹 事 65 周 年 実 行	プ ロ グ ラ ム 会 員 増 強	● 会 長 エ レ ク ト ● 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 長 期 計 画	会 場 運 営 会 員 増 強

氏名	高橋和彦	江藤真吾	山田 託也	大野 保司	近藤 正成	春山 敏實	澤幡 智史	井橋 英蔵
入会年月日	2015. 3. 3	2015. 7.21	2015.10.20	2015.12.15	2016. 2. 9	2016. 5. 8	2016. 5. 8	2016. 5. 8
経過満年月	9.03	8.11	8.08	8.06	8.04	8.01	8.01	8.01
創立時～2001 (40周年)								
2001～2004								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014								
2014～2015	親睦活動							
2015～2016	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 クラブ会報
2016～2017	会員増強	親睦活動 出社	クラブ会報 社会奉仕	クラブ会報 米山奨学	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 社会奉仕	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 社会奉仕
2017～2018	会場運営 会員増強	スマイル クラブ会報	クラブ会報 青少年奉仕	親睦活動 スマイル	親睦活動 クラブ会報	親睦活動 会場運営	出社 会員増強	親睦活動 クラブ会報
2018～2019	会場運営 米山奨学	出社 クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	出社 青少年奉仕	親睦活動 国際奉仕	クラブ会報 国際奉仕	出社 会員増強	スマイル 青少年奉仕
2019～2020	親睦活動 会員増強	公共イメージ クラブ会報	青少年奉仕 奉仕プロジェクト	スマイル クラブ管理運営	国際奉仕 奉仕プロジェクト	親睦活動 国際奉仕	親睦活動 青少年奉仕	親睦活動 青少年奉仕
2020～2021 (60周年)	プログラム クラブ会報	米山奨学 クラブ会報	親睦活動 青少年奉仕	雑誌広報 公共イメージ 青少年奉仕	R財団 国際奉仕	出社 職業奉仕	出社 クラブ管理運営 社会奉仕	スマイル クラブ管理運営 会場運営
2021～2022	クラブ会報 会員増強	会場運営 クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	プログラム クラブ会報 青少年奉仕	会員増強 親睦活動 国際奉仕	会場運営	出社 会場運営 クラブ会報	社会奉仕 奉仕プロジェクト 会場運営
2022～2023	プログラムの スマイル 会員増強	会員増強 職業奉仕	青少年奉仕 米山奨学	クラブ会報 社会奉仕 青少年奉仕	親睦活動 クラブ管理運営	親睦活動	会場運営 クラブ管理運営	青少年奉仕 プログラム 奉仕プロジェクト
2023～2024	プログラム 職業奉仕	親睦活動 クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	会員増強 青少年奉仕	プログラム クラブ管理運営	雑誌広報 青少年奉仕	公共イメージ クラブ会報 会場運営	会員増強
2024～2025	会場運営 スマイル	●国際奉仕 奉仕プロジェクト	会員増強 国際 米山奨学	会場運営 青少年奉仕	社会奉仕 R財団	社会奉仕	親睦活動 会場運営 クラブ会報	●副幹事 プログラム 65周年実行

氏名	大澤 弘一	○ 中村 聡久	松永 賢一	小室 伸和	大塚 洋幸	牛久 祐一	中川 訓	石垣李枝子
入会年月日	2016. 5. 8	2016. 8. 2	2016. 8. 2	2017. 6.27	2017. 7.25	2017. 9.26	2018. 1. 9	2019. 4. 9
経過満年月	8.01	7.10	7.10	7.00	6.11	6.09	6.05	5.02
創立時～2001 (40周年)								
2001～2004								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014								
2014～2015								
2015～2016	親 睦 活 動 会 場 運 営							
2016～2017	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動				
2017～2018	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 出 出 ス	親 睦 活 動 出 出 ス	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
2018～2019	会 場 運 営 職 業 奉 仕	会 場 運 営 雑 誌 広 報	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営
2019～2020	会 場 運 営 雑 誌 広 報	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 場 運 営 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 国 際 奉 仕	雑 誌 広 報 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営
2020～2021 (60周年)	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 員 増 強	会 場 運 営 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	出 国 際 奉 仕 席 奉 仕	国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	雑 誌 広 報 国 際 奉 仕	出 国 際 奉 仕 席 奉 仕
2021～2022	会 場 運 営 社 会 奉 仕	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報	雑 誌 広 報 公 共 イ メ ー ジ	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	出 国 際 奉 仕 席 奉 仕	親 睦 活 動 出 国 際 奉 仕	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	親 睦 活 動 会 場 運 営
2022～2023	プ ロ グ ラ ム 職 業 奉 仕	副 幹 事 親 睦 活 動	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 雑 誌 広 報	親 睦 活 動 出 国 際 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 職 業 奉 仕
2023～2024	ク ラ ブ 会 報 米 山 奨 学	幹 事	ク ラ ブ 会 報 会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	青 少 年 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	出 国 際 奉 仕 ク ラ ブ 管 理 運 営	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	職 業 奉 仕 国 際 奉 仕
2024～2025	雑 誌 広 報 職 業 奉 仕	雑 誌 広 報 会 員 構 成 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	● 社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	親 睦 活 動 国 際 奉 仕	● プ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 管 理 運 営	出 国 際 奉 仕 席 奉 仕

名	濱野 世嗣	鈴木 隆広	野口 和幸	奥田 邦彦	青木 勲	小森 秀彦	渡邊 哲康	米山 剛
入会年月日	2019. 5.21	2019. 5.28	2020. 2.25	2021. 1. 5	2021. 4.27	2021. 5.25	2021. 5.25	2021. 9. 7
経過満年月	5.01	5.01	4.04	3.05	3.02	3.01	3.01	2.09
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営						
2019～2020	親睦活動 スマイル	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営					
2020～2021 (60周年)	親睦活動 会場	クラブ会報 職業奉仕	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	
2021～2022	親睦活動 クラブ会 員増強	親睦活動 クラブ会 員増強	親睦活動 プログラム 雑報	親睦活動 会場 運営	社会奉仕	出会場員 増強	スマイル 職業奉仕	親睦活動 会場運営
2022～2023	社会奉仕 プロジェクト	出会場員 増強	クラブ会報 青少年奉仕	親睦活動 会場 運営	雑誌広報	出会場員 増強	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営
2023～2024	クラブ会報 会場 米山奨学	スマイル クラブ管理 運営	雑誌広報 公共奉仕	会場管理 運営	職業奉仕 財団	親睦活動 会場 運営	クラブ会報 職業奉仕	親睦活動 会場 運営
2024～2025	●会員増強	●出会場員 増強	●会場運営 クラブ管理	●雑誌広報 公共奉仕	職業奉仕	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営

氏名	吉澤 紀親	大野 凜子	加藤 俊輔	春山 祐一郎	青野 智行	平野 慎也	有森 健太郎	森久 保晶彦
入会年月日	2021.10.12	2021.10.26	2022. 1.11	2022. 1.11	2022. 1.11	2022. 9.20	2022.11. 1	2022.11.15
経過満年月	2.08	2.08	2.05	2.05	2.05	1.09	1.07	1.07
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営	親睦活動 会場運営			
2022～2023	親睦活動 会場 クラブ会報	親睦活動 青少年 奉仕	親睦活動 会場 クラブ会報	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営
2023～2024	出会場員 増強	出会場員 増強	監視 出	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営
2024～2025	親睦活動 青少年 奉仕	●青少年奉仕 プロジェクト	●監視 出	会場 クラブ	●スマイル クラブ管理 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営	親睦活動 会場 運営

氏名	吉井 一裕	中里 智博	藤田 幹	宮部 政夫	長澤 告幸	城岡太史郎	須藤 幸昌	増田雄一郎
入会年月日	2023. 2.28	2023. 3.28	2023. 5. 9	2023. 6.13	2023. 6.20	2023. 6.20	2023. 7.25	2023. 9.26
経過満年月	1.04	1.03	1.01	1.00	1.00	1.00	0.11	0.09
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管		
2023～2024	親会職 睦場業 活運奉 動管仕	親会社 睦場会 活運奉 動管仕	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管
2024～2025	親会 睦員 活増 動強	親会会 睦場員 活運増 動管強	会ス 場マ 運イ 管ル	親出職 睦業 活奉 動席仕	国 際 奉 仕 団	会 社 国 際 奉 仕 団	会ク ラブ 運會 管報	親会ス 睦場マ 活運イ 動管ル

氏名	鈴木 義隆	吉村 尚希						
入会年月日	2024. 2.27	2024. 4. 9						
経過満年月	0.04	0.02						
創立時～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023								
2023～2024	親会 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管						
2024～2025	親会ク ラブ 睦場 活運 動管	親会 睦場 活運 動管						

国際ロータリー関係 国内事務所一覧

国際ロータリー中央事務局

ROTARY INTERNATIONAL

One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue Evanston
Illinois 60201 U.S.A.

国際ロータリー日本事務局

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 24 階

クラブ・地区支援室 TEL 03 (5439) 5800 (旧奉仕室)

財団室 TEL 03 (5439) 5805

経理室 TEL 03 (5439) 5803

資料室 TEL 03 (5439) 5802

FAX (共通) 03 (5439) 0405

ガバナー会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

TEL 03 (3433) 6497

公益財団法人 米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL 03 (3434) 8681

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL 03 (3433) 6456

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

TEL 03 (3436) 6651



国際ロータリー第 2770 地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116

エイペックスタワー東館 1 階

TEL 048 (827) 0022・FAX 048 (827) 0011

Eメール ri2770@ri2770.com

2024-2025 年度 公式訪問日程表

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
日			1					
月	1 ガバナー会		2 大宮西 嶋田			2 川口中央 多田		
火	2		3	1 八潮 佐藤龍		3 葛加松原 佐藤道		
水	3 幸手 砂沢		4 大宮 時枝	2 上尾西 大竹		4 川口むさし野 石黒	1	
木	4 浦和中 佐藤道	1	5 上尾	3 岩槻 多田		5	2	
金	5	2	6	4	1	6 第2回合同会議	3	
土	6 さいたま大空 石黒	3	7	5 川口モーニング 赤塚	2	7	4	1
日	7	4	8	6	3	8	5	2
月	8 浦和南 内田	5	9 さいたま新都心 落合	7 戸田	4 文化の日	9	6	3
火	9 春日部 金子 第1回諮問委員会	6 三郷 時枝	10 越谷 水品	8 第2回諮問委員会	5 幸手中央 平井	10 三郷中央 内田	7	4
水	10	7 鴻巣水曜 佐藤龍	11	9 吉川 佐藤道	6 越谷北 嶋田	11 第3回諮問委員会	8	5
木	11 久喜 砂沢	8 八潮みらい 大竹	12 浦和東 細谷	10 越谷東 石黒	7 春日部イブニング 時枝	12 ローターリー 財団地域 セミナー	9 川口北	6 川口
金	12	9 浦和	13 財団・国際セミナー	11 上尾北 砂沢	8	13 晩餐会	10	7
土	13	10 米山セミナー	14	12	9	14 ローターリー研究会	11	8
日	14	11	15	13	10	15 ローターリー研究会	12	9
月	15 海の日 管理・増強・公共セミナー	12 山の日	16 敬老の日	14 スポーツの日	11	16	13	10
火	16 さいたまシティ 落合	13	17 蕨 鈴木	15 大宮中央 内田	12 川口東	17 川口西 金子	14 川口シティ鳩ヶ谷	11
水	17 浦和ダイヤモンド 水品	14	18 八潮イブニング 内田	16	13 川口南 赤塚	18	15 鴻巣イブニング 鳩ヶ谷	12
木	18	15	19 杉戸	17 越谷南 金子	14	19 北本	16	13
金	19 職社セミナー	16	20	18	15	20	17	14
土	20	17 青少年セミナー	21	19	16 地区大会	21	18	15
日	21	18	22	20	17 地区大会	22	19	16
月	22	19	23 秋分の日	21 地区大会ゴルフ	18	23	20	17
火	23 岩槻東 細谷	20 鴻巣 多田	24 越谷中 石黒	22 大宮北東	19	24 川口北東 佐藤龍	21	18
水	24 桶川 鈴木	21	25 川口/鳩ヶ谷武南 平井	23 蓮田	20	25 蓮田	22	19
木	25 春日部西 嶋田	22 草加シティ	26 さいたま中央 赤塚	24	21 桶川イブニング	26	23 川口北	20
金	26	23	27	25	22	27	24	21
土	27	24	28	26	23 勤労感謝の日	28	25	22
日	28	25	29	27	24	29	26	23
月	29	26	30	28 大宮シティ 水品	25	30	27	24
火	30 浦和北東 平井	27 さいたま櫻 金子		29 浦和北 細谷	26 松伏	31	28 大宮東	25 第4回諮問委員会
水	31	28 春日部南 砂沢		30				26
木		29 戸田西		31 大宮南 鈴木	28 吉川中央 大竹		30	27
金		30			29		31	28
土		31			30			29

※予定は変更になる可能性があります。

※日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通じて地区へご連絡願います。

地区内クラブ入会金・年会費・ビジター登録料一覧

2024年3月27日現在

番号	クラブ名	入会金	年会費 (1年間)	ビジター 登録料
1	浦和	150,000	360,000	4,000
2	浦和東	50,000	340,000	3,000
3	浦和南	50,000	280,000	3,000
4	浦和中	50,000	340,000	3,000
5	浦和ダイヤモンド	0	300,000	3,000
6	浦和北	80,000	360,000	2,000
7	さいたま中央	50,000	340,000	2,000
8	さいたまシティ	50,000	288,000	2,000
9	浦和北東	150,000	340,000	2,000
10	さいたま新都心	50,000	300,000	1,500
11	大宮	120,000	360,000	4,000
12	大宮南	50,000	350,000	2,000
13	大宮中央	男性100,000 女性50,000	300,000	2,500
14	大宮シティ	100,000	300,000	3,000
15	さいたま櫛	0	240,000	2,500
16	さいたま大空	0	72,000	1,000
17	大宮西	100,000	330,000 家族会員165,000	3,000
18	岩槻	0	240,000	2,000
19	大宮東	0	300,000	1,500
20	岩槻東	50,000	280,000	1,500
21	大宮北東	100,000	300,000	2,000
22	上尾	50,000	250,000	1,500
23	鴻巣	0	240,000	0
24	桶川	0	280,000 L会員180,000 S会員・家族会員 120,000	1,500
25	上尾西	0	280,000	1,500
26	北本	0	180,000	1,500
27	上尾北	0	280,000	1,500
28	鴻巣水曜	0	260,000	1,500
29	桶川イブニング	20,000	240,000 女性会員180,000	1,500
30	鴻巣イブニング	0	160,000	1,000
31	春日部	0	270,000	1,500
32	杉戸	0	280,000	1,500
33	春日部西	0	300,000	2,000
34	春日部南	0	280,000	1,500
35	春日部イブニング	0	240,000	0

番号	クラブ名	入会金	年会費 (1年間)	ビジター 登録料
36	幸手	50,000	260,000	1,500
37	蓮田	0	240,000	2,000
38	久喜	0	270,000	1,500
39	幸手中央	0	250,000	1,500
40	越谷	80,000	280,000	1,500
41	越谷南	60,000	300,000	1,500
42	越谷北	60,000	270,000	1,500
43	越谷東	40,000	300,000	1,500
44	越谷中	0	240,000	1,500
45	八潮	0	270,000	1,500
46	八潮イブニング	0	200,000	1,500
47	草加中央	0	120,000	1,500
48	八潮みらい	10,000	240,000	1,500
49	草加松原	30,000	240,000	1,500
50	草加シティ	0	120,000	0
51	吉川	20,000	200,000	1,500
52	三郷	10,000	220,000	1,500
53	三郷中央	30,000	240,000	1,500
54	松伏	30,000	220,000	1,500
55	吉川中央	20,000	180,000	3,000
56	川口	30,000	290,000	2,000
57	鳩ヶ谷	50,000	280,000	2,000
58	川口東	50,000	280,000	2,000
59	川口/鳩ヶ谷武南	30,000	260,000	2,000
60	川口モーニング	50,000	240,000	1,500
61	川口南	50,000	280,000	2,000
62	川口シティ鳩ヶ谷	10,000	250,000	1,000
63	戸田	0	270,000	1,500
64	蕨	0	280,000	1,500
65	川口西	0	250,000	1,500
66	戸田西	0	240,000	1,500
67	川口北	0	240,000	2,000
68	川口北東	0	240,000	2,000
69	川口中央	0	360,000	2,000
70	川口むさし野	0	250,000	2,000

(単位:円)

地区内クラブ創立一覽

2024年3月27日現在
(敬称略)

	クラブ名	合併前 クラブ	スポンサー クラブ	RI加盟認証 年月日	RI合併承認 年月日	ガバナー	備考 (特別代表)
1	浦和		東京・川越	1954年8月30日		柳瀬 省吾	柏原 孫左衛門 木村 善太郎
2	大宮		熊谷	1955年12月27日		小松 隆	尾高 格三
3	川口		浦和	1960年1月8日		柏原 孫左衛門	高橋 申
4	越谷		浦和	1961年6月19日		田 誠	中村 弥太郎
5	浦和北		浦和	1961年12月29日		中村 米平	籠島 誠治
6	草加松原	草加 草加イブニング	浦和 草加	1962年6月14日	2012年6月30日	中村 米平 牧内 操	中村 弥太郎 大久保 雄司
7	上尾		大宮	1963年3月16日		湯浅 恭三	熊田 克郎
8	大宮西		大宮	1963年3月22日		湯浅 恭三	清水 喜一
9	岩槻		大宮	1963年8月19日		永沼 政久	入山 卯八郎
10	戸田		川口	1964年6月22日		永沼 政久	榊 春壽
11	春日部		大宮	1965年1月20日		神守 源一郎	田中 松彦
12	鳩ヶ谷		川口	1965年4月17日		神守 源一郎	榊 春壽
13	蕨		浦和北	1965年4月28日		神守 源一郎	高橋 三郎
14	さいたま中央		浦和北	1966年1月21日		竹田 恒徳	壽原 茂夫
15	幸手		春日部	1900年1月0日		松方 三郎	君塚 皎
16	川口西		川口	1967年10月2日		松方 三郎	永瀬 七朗
17	鴻巣		上尾	1968年8月1日		廣澤 輝雄	小林 貞次
18	浦和東		浦和	1970年4月9日		森田 勝彦	長島 恭助
19	吉川	吉川 吉川イブニング	草加 吉川	2008年6月30日	2008年6月30日	河野 秀夫 田中 作次	祝原 運一 田辺 英雄
20	杉戸	杉戸 杉戸中央	春日部 杉戸	1971年5月3日	2014年9月6日	河野 秀夫 田中 作次	平野 壽 関口 博正
21	川口東		川口	1971年6月28日		河野 秀夫	榊 春壽
22	蓮田		岩槻	1971年7月28日		青山 幸高	岡田 喜一郎
23	桶川		上尾	1972年4月17日		青山 幸高	加藤 金作
24	上尾西		上尾	1973年5月7日		半田 利一	関口 博見
25	久喜		幸手	1973年6月25日		半田 利一	秋間 泰造
26	戸田西		戸田	1974年10月20日		繁田 正一	岩崎 久二
27	越谷南		越谷	1974年6月28日		繁田 正一	畔上 計治
28	八潮		草加	1975年8月7日		山口 大	清水 啓三郎
29	さいたまシティ		浦和東	1975年8月29日		山口 大	石川 慎一郎
30	川口北		川口	1976年10月1日		山口 大	稲川 次郎
31	越谷北		越谷	1976年5月26日		山口 大	桃木 俊平
32	北本		鴻巣	1976年5月19日		山口 大	秋笹 善太郎
33	浦和南		浦和	1978年3月27日		相原 茂吉	逸見 正夫
34	大宮南		大宮	1978年7月19日		相原 茂吉	安原 芳太郎
35	大宮東		大宮北	1979年2月15日		平野 壽	河木 清
36	三郷		吉川	1979年6月11日		平野 壽	中村 孝
37	岩槻東		岩槻	1980年11月11日		赤塚 正一	星野 一夫
38	春日部西		春日部	1983年6月2日		秋山 博	長谷川 茂
39	川口北東		川口北	1985年4月17日		福島 良治	飯塚 直次
40	川口/鳩ヶ谷武南		鳩ヶ谷	1985年5月15日		福島 良治	関口 登
41	川口モーニング		川口東	1985年12月26日		田中 徳兵衛	伊藤 愼六
42	川口中央		川口西	1986年5月12日		田中 徳兵衛	秋山 博
43	大宮中央		大宮	1987年3月3日		佐野 康博	久保田 耕司
44	越谷東		越谷	1987年5月18日		佐野 康博	坂巻 幸次
45	浦和北東		浦和	1987年6月26日		佐野 康博	落合 豊
46	八潮イブニング		八潮	1988年6月24日		阿部 完市	小沢 貞助
47	上尾北		上尾西	1989年4月16日		金子 雅英	中村 秀夫
48	さいたま新都心		さいたま中央	1990年2月6日		坂巻 幸次	仁科 一二
49	越谷中		越谷北	1990年5月22日		坂巻 幸次	橋本 敏章
50	浦和中		浦和	1990年5月31日		坂巻 幸次	相川 曹司
51	三郷中央		三郷	1990年6月20日		坂巻 幸次	松井 廣司
52	川口むさし野		川口北東	1991年7月5日		石井 治	村田 和朗
53	鴻巣水曜		鴻巣	1992年6月12日		牧内 操	石田 俊男
54	大宮北東		大宮西	1992年6月17日		牧内 操	川村 平作
55	川口南		川口	1993年3月28日		半田 昭雄	大熊 不二
56	春日部南		春日部西	1993年6月2日		半田 昭雄	村田 睦幸
57	八潮みらい	八潮中央 八潮シティ	八潮 八潮イブニング	1994年6月6日	2012年2月23日	藤田 亘弘 田中 作次	木村 昭吉 成本 富夫
58	草加中央	草加南 草加中央	草加 草加南	1995年4月18日	2015年1月1日	田中 徳兵衛 田中 作次	田村 長一 須永 正夫
59	浦和ダイヤモンド		浦和東	1995年4月27日		田中 作次	久保 卓児
60	春日部イブニング		春日部	1995年5月30日		田中 作次	佐藤 勝夫
61	川口シティ鳩ヶ谷		鳩ヶ谷	1996年5月14日		仙崎 昭信	稲垣 禮二
62	桶川イブニング		桶川	1997年6月30日		高窪 昭雄	寺岡 孝
63	大宮シティ		大宮	1998年6月30日		久世 晴雅	八木 隆男
64	幸手中央		幸手	1998年10月28日		高浜 彰男	滝原 征一郎
65	松伏		吉川	2000年6月28日		吉田 豊治	金井 孝夫
66	さいたま樺		さいたま中央	2004年5月5日		田村 亮夫	大橋 軍治
67	さいたま大空		—	2013年11月25日		渡邊 和良	恵川 一成
68	吉川中央		—	2017年9月14日		大貫 等	
69	草加シティ		—	2017年12月21日		大貫 等	
70	鴻巣イブニング		—	2024年3月25日		梨本 松男	

地区内クラブネット環境一覧

2024年6月12日現在

番号	クラブ名	email	ホームページ
1	浦和	urawarc@aqua.ocn.ne.jp	https://urawa-rc.org/
2	浦和東	urawaras@green.ocn.ne.jp	http://urawahigashi-rc.com
3	浦和南	urawa373rc@outlook.jp	http://www7b.biglobe.ne.jp/~urawaminami-rc
4	浦和中	urawanakaRC@outlook.jp	urawa-naka-rc.org/
5	浦和ダイヤモンド	urawa888drc@yahoo.co.jp	http://urawa-diamond.com
6	浦和北	office@urawakita-rotary.jp	http://urawakita-rotary.jp/
7	さいたま中央	s-chuorc@poplar.ocn.ne.jp	www.s-chuorc.jp
8	さいたまシティ	urawawrc@tbd.t-com.ne.jp	https://urawawrc.wixsite.com/saitamacity-rc
9	浦和北東	urawa-ne@smile.ocn.ne.jp	http://www.urawa-northeast-rc.com/
10	さいたま新都心	jimu@shintoshin-rc.org	http://www.shintoshin-rc.org/
11	大宮	info@omiya-rc.jp	https://omiya-rc.jp
12	大宮南	south-rc@khaki.plala.or.jp	jp.omyaminami-rc.org/
13	大宮中央	omiya.chuo.rotary@gmail.com	http://www.omyachuo.com
14	大宮シティ	info_ocr@clock.ocn.ne.jp	http://www.omya-city-rotary.com
15	さいたま櫛	saitama@keyaki-rc.jp	www.keyaki-rc.jp
16	さいたま大空	saitamaozorarc@gmail.com	https://www.facebook.com/saitamaozorarc/
17	大宮西	west@rc-omiya-west.com	http://rc-omiya-west.com/
18	岩槻	info@iwatsuki-rotaryclub.jp	http://iwatsuki-rotaryclub.jp/
19	大宮東	omiya.e.rc@nifty.com	http://www.omyaeast-rc.jp
20	岩槻東	ni01@iwatsuki-east-rc.org	www.iwatsuki-east-rc.org
21	大宮北東	ohmiya-hokuto-rc@ak.wakwak.com	http://park7.wakwak.com/~omiya-hokutou-rc/index.html
22	上尾	info@ageo-rc.org	https://ageo-rc.org/
23	鴻巣	info@kounosurotary.com	http://kounosurotary.com/
24	桶川	okegawarotary@shore.ocn.ne.jp	https://www.okegawa-rc.org
25	上尾西	awestrc@ceres.ocn.ne.jp	https://www.rotary-ageowest.jp/
26	北本	office@rotarykitamoto.org	http://rotarykitamoto.org
27	上尾北	ageo-kita@rotary-club.net	http://www.rotary-club.net
28	鴻巣水曜	itiin@kounosu-suiyorc.org	http://www.kounosu-suiyorc.org/
29	桶川イブニング	okegawa-evening@aqua.plala.or.jp	http://okegawa-evrc.com/
30	鴻巣イブニング	info@kounosuevening.com	https://www.kounosuevening.com
31	春日部	kasukabe-rc@cc.wakwak.com	
32	杉戸	sugitorc@image.ocn.ne.jp	https://sugitorc.xrea.jp/blog/
33	春日部西	kasukabewest.rc@crest.ocn.ne.jp	https://www.facebook.com/KasukabeWestRC
34	春日部南	kasukabe-s-rc@athena.ocn.ne.jp	
35	春日部イブニング	kasuerc@coast.ocn.ne.jp	http://www.net-shien.com/k-evening/

番号	クラブ名	email	ホームページ
36	幸手	info@satterc.jp	http://www.satterc.jp/
37	蓮田	hasudarc@gmail.com	https://www.hasuda-rotaryclub.com/
38	久喜	ksrc-1@chive.ocn.ne.jp	http://kukishobu-rc.org/
39	幸手中央	s-chuorc@townnavi.info	http://www.sattechuorc.com/
40	越谷	koshirc@gmail.com	http://www.koshigaya-rc.jp
41	越谷南	info@koshigayasouth-rc.jp	www.koshigayasouth-rc.jp
42	越谷北	kkrc@koshigayakita-rc.jp	https://koshigayakita-rc.jp/
43	越谷東	info@koshigayahigashi-rc.org	http://www.koshigayahigashi-rc.org
44	越谷中	knrc@almond.ocn.ne.jp	http://koshigayanaka-rc.org/
45	八潮	ny4s-asi@asahi-net.or.jp	http://www.yashiorc.jp
46	八潮イブニング	yashioevening@gmail.com	http://www.yashio-eve.jp/
48	八潮みらい	secretary@yashiomirai.jp	https://yashiomirai.jp/
49	草加松原	sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp	www.soka-rc.gr.jp/sokamatsubara/
50	草加シティ	soka-city@soka-rc.gr.jp	http://www.soka-rc.gr.jp
51	吉川	yoshikawa.rc.10g@gmail.com	
52	三郷	s-misatorc-yuki@agate.plala.or.jp	
53	三郷中央	mchuoirc@maple.ocn.ne.jp	http://www.misatochuo-rc.com/
54	松伏	matsubushi.rotary.2022@gmail.com	
55	吉川中央	zd3vw6@bma.biglobe.ne.jp	
56	川口	krc2770@plum.plala.or.jp	http://www.kawaguchi-rc.com
57	鳩ヶ谷	hatogaya@atlas.plala.or.jp	https://hatogaya-rc.com
58	川口東	k-e.rc@ceres.ocn.ne.jp	http://k-erc.sakura.ne.jp/
59	川口/鳩ヶ谷武南	kh.bunan@gmail.com	https://www.kh-bunan.com
60	川口モーニング	morning_2770@h6.dion.ne.jp	https://kawaguchi-morning.jp/
61	川口南	south-rc@jcom.zaq.ne.jp	http://www.kawaguchisouth.jp
62	川口シティ鳩ヶ谷	kawaguchicityhatogaya-rc@ab.auone-net	
63	戸田	info@toda-rc.com	http://www.toda-rc.com/
64	蕨	rotary@warabi.ne.jp	www.warabi.ne.jp/~rotary
65	川口西	kawaguchi-nishirc@lime.ocn.ne.jp	http://kawaguchiwest-rc.org/
66	戸田西	zum10055@nifty.ne.jp	https://toda-west-rc.com
67	川口北	kawaguchi-nrc@bloom.ocn.ne.jp	http://www.kawaguchinrc.jp/
68	川口中央	kcrc@bz03.plala.or.jp	http://kawaguchi-chuo-rc.world.coocan.jp/rc/Welcome.html
69	川口むさし野	kawaguchimusashino@vega.ocn.ne.jp	https://kawaguchi-mrc.jp/

姉妹・友好クラブ締結状況

(2023年4月14現在)

G	クラブ名	交流区分	国名	地区番号	クラブ名	締結年度
1	浦和					
	浦和東	姉妹	アメリカ合衆国	5280	デル・アモRC	1972年3月
		友好	日本(石川)	2610	金沢西RC	2014年4月
	浦和南	姉妹	韓国	3750	南水原RC	1982年4月
		姉妹	日本(岩手)	2520	宮古RC	1989年5月
	浦和中	友好	日本(宮城)	2520	仙台青葉RC	2008年6月
		友好	タイ	3350	バンコク・スリウオンRC	2018年9月
浦和ダイヤモンド	友好	日本(群馬)	2840	藤岡南RC	2020年6月	
2	浦和北	友好	台湾	3490	同徳RC	2016年6月
		友好	フィリピン	3800	モンテンルパ北	2016年12月
	さいたま中央					
	さいたまシティ	姉妹	台湾	3490	基隆東RC	1979年11月
		友好	日本(熊本)	2720	菊池RC	1984年11月
	浦和北東	友好	アメリカ合衆国	2750	ノーザン・グアムRC	2004年5月
さいたま新都心						
3	大宮	友好	アメリカ合衆国	7510	トレントンRC	1969年5月
	大宮南	姉妹	台湾	3480	永和RC	2018年5月
	大宮中央	姉妹	韓国	3750	南安養RC	1988年10月
	大宮シティ	友好	日本(石川)	2610	小松シティRC	2002年5月
	さいたま櫛	姉妹	韓国	3720	尉山第一RC	2008年6月
	さいたま大空					
4	大宮西	姉妹	台湾	3462	南投RC	1970年2月
	岩槻	姉妹	台湾	3502	桃園経国RC	2008年4月
		友好	日本(千葉)	2790	千倉RC	1981年11月
	大宮東	友好	日本(愛媛)	2670	松山北RC	1993年4月
	岩槻東	姉妹	フィリピン	3800	マラボンRC	1985年9月
	大宮北東					
5	上尾	姉妹	台湾	3470	台南東北RC	2023年3月
	鴻巣	姉妹	台湾	3470	台南府城RC	2007年11月
	桶川	友好	日本(福島)	2530	いわき平東RC	2017年4月
	上尾西	姉妹	台湾	3480	台北稲江RC	1988年3月
		姉妹	日本(岩手)	2520	大船渡RC	2019年10月
	北本	姉妹	台湾	3500	新竹東北区RC	1990年4月
	上尾北					
	鴻巣水曜	友好	日本(鹿児島)	2730	奄美RC	2022年5月
桶川イブニング						
6	春日部	姉妹	台湾	3500	中歴RC	1969年11月
		友好	日本(秋田)	2540	横手南RC	1997年6月
	杉戸	姉妹	台湾	3501	中壢北区RC	2018年5月
		友好	福島	2530	富岡RC	2019年4月
	春日部西	友好	日本(福島)	2530	三春RC	2013年6月
		友好	台湾	3502	桃園百齡RC	2018年6月
	春日部南	友好	日本(岩手)	2520	宮古RC	2005年7月
		友好	日本(新潟)	2560	糸魚川RC	2010年9月
		姉妹	タイ	3360	メイチャンRC	2013年2月
	春日部イブニング	友好	日本(山形)	2800	山形鶴岡南RC	2015年5月
7	幸手	姉妹	台湾	3500	桃園RC	1970年1月
	蓮田	姉妹	台湾	3480	台北古亭RC	2008年9月
		姉妹	日本(宮崎)	2730	宮崎南RC	2016年6月
	久喜	友好	日本(青森)	2830	野辺地RC	2006年6月
	幸手中央					

8	越谷	姉妹	オーストラリア	9750	キャンベルタウンRC	1992年3月
		友好	日本(熊本)	2720	熊本城東RC	2006年3月
	越谷南	姉妹	台湾	3460	台中南區RC	1994年4月
		友好	日本(岩手)	2520	宮古東RC	2016年5月
	越谷北	友好	日本(福島)	2530	浪江RC	1996年5月
	越谷東	姉妹	台湾	3460	台中港北區RC	1992年4月
越谷中	友好	台湾	3480	台北百城RC	2006年5月	
9	八潮					
	八潮イブニング					
	草加中央					
	八潮みらい	友好	日本(群馬)	2840	前橋中央RC	2022年5月
	草加松原					
	草加シティ	友好	タイ	3340	ウボンRC	2018年3月
友好		タイ	3340	ロイエットRC	2018年3月	
友好		タイ	3340	ヤソーンRC	2019年3月	
友好		タイ	3340	ウドンRC		
10	吉川	友好	日本(熊本)	2720	宇土RC	2015年7月
	三郷	姉妹	韓国	3700	大邸東信RC	1991年5月
	三郷中央	姉妹	台湾	3520	台北博愛RC	1992年6月
	松伏	友好	オーストリア	1910	グライズドルフRC	2024年3月
	吉川中央					
11	川口	姉妹	台湾	3500	中歴RC	1971年11月
		友好	オーストラリア	9675	CAMDEN RC	2012年4月
		友好	アメリカ合衆国	6600	フィンドレーRC	2018年10月
	鳩ヶ谷	姉妹	台湾	3460	草屯RC	1971年2月
	川口東	姉妹	台湾	3460	台中西北RC	1972年6月
		友好	日本(宮城)	2520	塩釜RC	2012年12月
	川口/鳩ヶ谷武南	姉妹	台湾	3460	大甲北区RC	1989年4月
	川口モーニング	姉妹	日本(北海道)	2510	札幌モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(北海道)	2500	旭川モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(青森)	2830	青森モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(京都)	2650	京都モーニングRC	2011年4月
川口南	姉妹	台湾	3490	新莊中央RC	1997年3月	
川口シティ鳩ヶ谷	友好	台湾	3460	大里中興RC	2014年5月	
12	戸田	姉妹	韓国	3750	水原RC	2010年6月
		姉妹	台湾	3490	板橋RC	2010年6月
	蕨	姉妹	台湾	3490	基隆南RC	1966年10月
	川口西	姉妹	台湾	3460	東勢RC	1971年8月
	戸田西	姉妹	韓国	3750	安山広徳RC	2007年4月
	川口北	姉妹	韓国	3750	安山RC	1996年4月
	川口中央	姉妹	台湾	3481	台北金龍RC	1991年5月
	川口むさし野	姉妹	韓国	3750	安養萬安RC	1993年3月

ロータリーソング

奉仕の理想

元京都RC会員
作詩：前田和一郎
元東京RC会員
作曲：萩原 栄一

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

我等の生業

作詩：高野 辰之
作曲：岡野 貞一

1. 我等の生業さまざまなれど
集いて凶る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン
我等の集い

2. 奉仕に集える我等は望む
正しき道に果をとるを
人の世挙りて光を浴みつ
力を協せて争忌むを
おゝロータリアン
我等の集い

それでこそロータリー

元東京RC会員
作詩・作曲：矢野 一郎

1. どこで会っても やあとのおうよ
見つけた時には おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

2. 笑顔笑顔で 語り合おうよ
心で 結び合おうよ
みんな世の為 働き合おうよ
それでこそ ローローロータリー

3. どこの国にも 友が居るよ
みんな一つの 輪になろうよ
同じ心で 親しみ合おうよ
それでこそ ローローロータリー

手に手つないで

元東京RC会員
作詩・作曲：矢野 一郎

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン

2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン

越谷ロータリークラブ

例会場 越谷産業会館内

事務局 〒343-0818 埼玉県越谷市越ヶ谷本町8-7

TEL 048-965-0550

FAX 048-965-6000

URL <http://www.koshigaya-rc.jp>

Email koshirc@gmail.com